

4.8 メッセージ表示機能

PLCCPU の状態に対応してコメントやエラーメッセージを表示することができます。

メッセージ表示機能には以下のようなものがあります。

- ・コメント表示機能……………デバイスの状態に対応したコメントを表示
- ・アラーム履歴表示機能……………条件成立時に発生時刻やコメントを表示
- ・アラームリスト表示機能……………エラーメッセージやコメントをリスト表示

○コメント表示機能とは

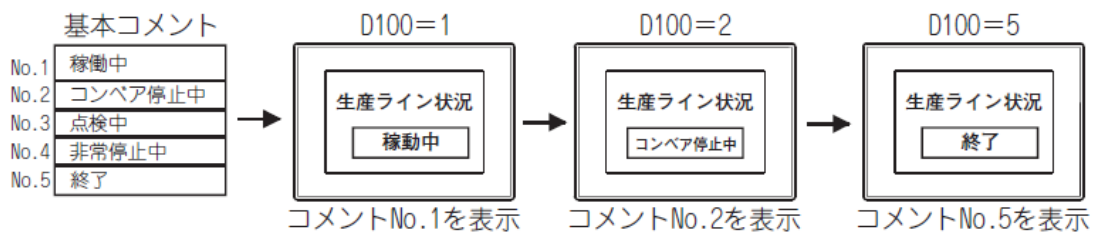
コメントとは、GTDesigner3 でユーザが登録した文字列のことです。

コメントは、基本コメントまたはコメントグループとして登録しておくことで、下記のようにオブジェクトで表示できます。

例 1) コメント表示で基本コメントに登録したコメントを表示する

基本コメントに登録したコメントを表示します。

モニタするデバイスの値に対応したコメント No. のコメントを表示します。

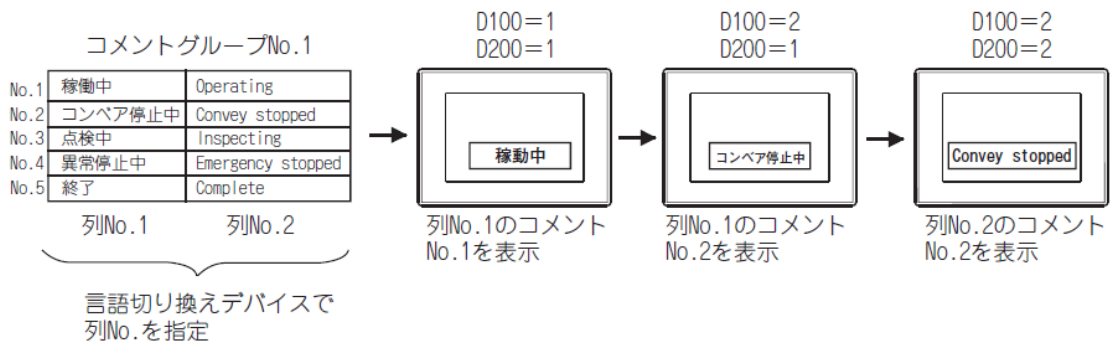


例 2) コメント表示で、コメントグループに登録したコメントを表示する

コメントグループに登録したコメントを表示します。

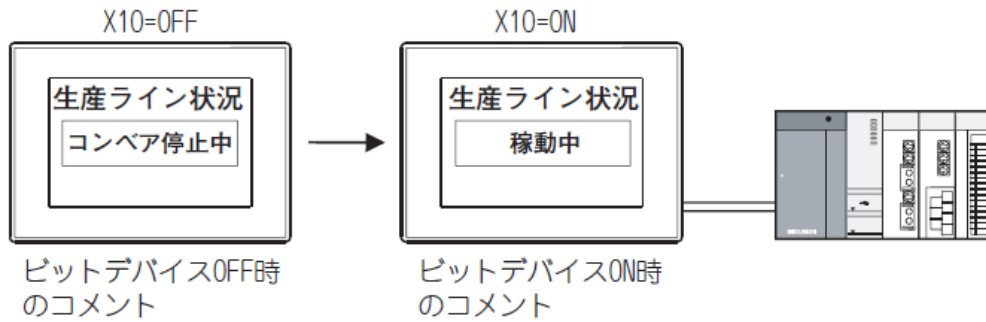
モニタするデバイスの値に対応したコメント No. のコメントを表示します。

言語切り換えデバイスで、表示するコメントの列を切り換えることができます。



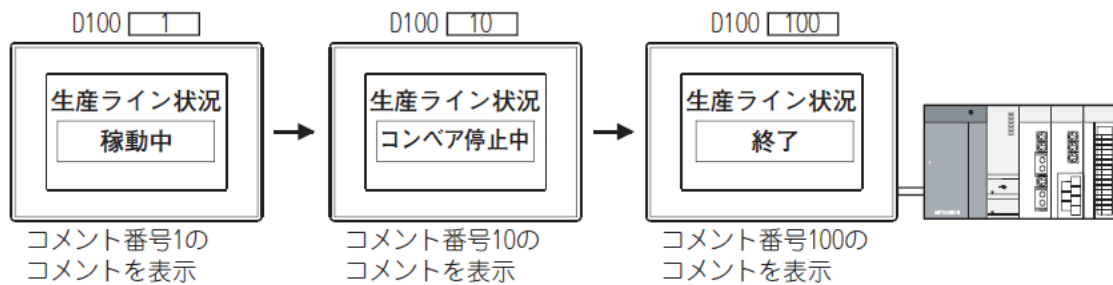
・コメント表示(ビット)

ビットデバイスのON/OFF に対応づけたコメントを表示する機能です。



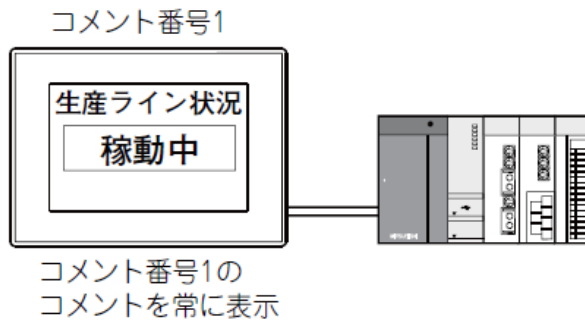
・コメント表示(ワード)

ワードデバイスの値に対応づけたコメントを表示する機能です。



・コメント表示(シンプル)

デバイスを設定することなく、コメントを表示する機能です



ポイント：コメント表示で表示するコメントについて

コメント表示で表示するコメントは、あらかじめ登録しておく必要があります。

○基本コメント、コメントグループの仕様

基本コメント、コメントグループの仕様を下記に示します。

項目	仕様	
	基本コメント	コメントグループ
設定可能数	1グループのみ	最大255グループ
登録可能コメント数	最大32767個	各コメントグループで最大32767個
コメント列数	1列	各コメントグループで最大10列
タイトル	変更不可（[基本コメント]で固定）	変更可能（全角半角に関わらず最大32文字）
漢字圏指定	なし（日本のみ）	日本、中国（簡体）- 明朝、中国語（繁体）- ゴシック
コメント編集ダイアログボックス	基本コメント、コメントグループ合わせて、同時に10個まで表示可能（使用するパソコンの性能によって異なります。）	
対応オブジェクト	タッチスイッチ、コメント表示、データリスト表示、アラーム履歴表示、ユーザアラーム表示、レポート機能	タッチスイッチ、ランプ（ビット / ワード）、コメント表示、拡張ユーザアラーム表示、アラーム履歴表示、拡張アラームポップアップ表示、レポート機能
フォント	16ドット（標準 / 高品位明朝）	12ドット（標準 / 高品位明朝 / 高品位ゴシック） 16ドット（標準 / 高品位明朝 / 高品位ゴシック）
コメント文字数	各コメントで、全角半角に関わらず最大512文字	
インポート / エクスポートできるファイルの種類	テキストファイル、CSVファイル、Unicodeテキストファイル	CSVファイル、Unicodeテキストファイル

最大32767個まで登録可能

コメントNo.	コメント	文字色	反転	プリンク	高品位	文字飾り	影色
1	ラインA稼働中		しない	中速	<input type="checkbox"/>	標準	
2	ラインB稼働中		しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	
3	ラインA異常停止中		しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	
4	ラインB異常停止中		しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	

基本グループ

最大255グループまで登録可能

最大32767個まで登録可能

列No.			文字色	反転	プリンク	高品位文字				文字飾り	影色
コメントNo.	1	2				12ドット ゴシック	12ドット 明朝	16ドット ゴシック	16ドット 明朝		
1	Aライン供給コンベア停止	A-Line supply conveyer stopped.		しない	なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標準	
2	非常停止リミット作動	Emergency stop limit switch operate.		しない	なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標準	
3	加工品リミット作動せず	Product limit switch does not operate.		しない	なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標準	
4	加工機-1の油圧低下	Hydraulic pressure of finishing machine 1 is low.		しない	なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標準	

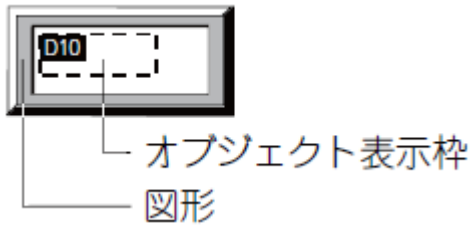
最大10列まで登録可能

コメントグループ

【補足】コメント表示

(1) オブジェクトに図形を設定した場合の調整方法

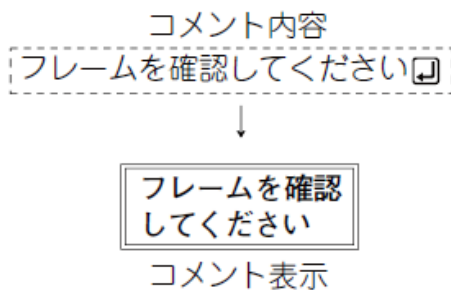
[タッチエリア・枠領域を編集する]を有効にして、オブジェクトと図形の表示位置を調整します。



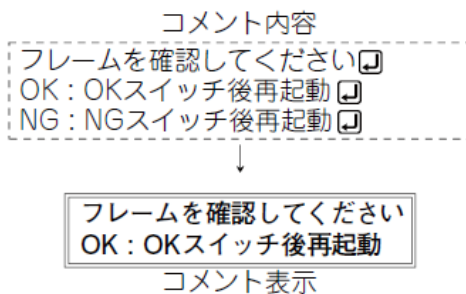
(2) 表示範囲を越えるコメントを表示する

(a) 折り返して表示させる。

横の表示範囲より長いコメントが表示された場合、折り返して表示されます。



縦の表示範囲より長いコメントが表示された場合、表示範囲内で表示できるコメントのみ表示されます。



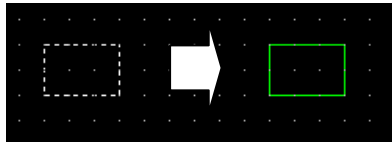
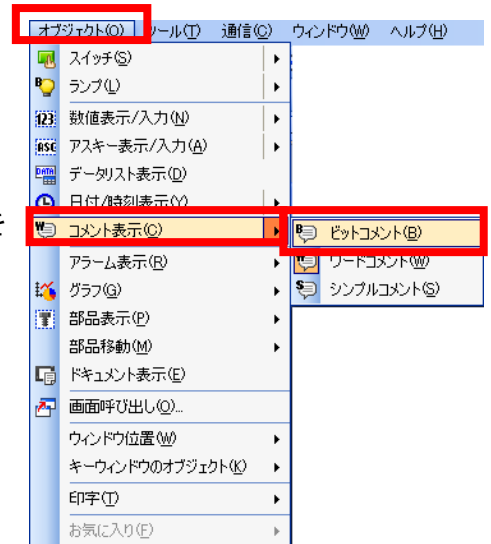
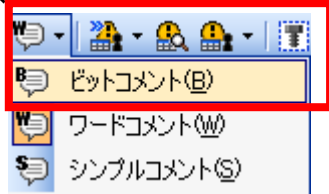
(b) 折り返して表示させない。

[文字サイズ自動調整]の項目にチェックを入れると、文字サイズが自動で変更されます。

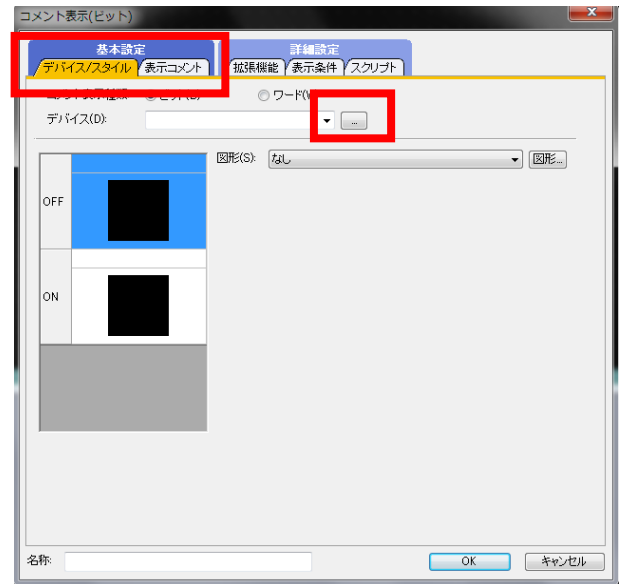
○操作説明

【ビットデバイスの ON/OFF に対応づけたコメントの設定】

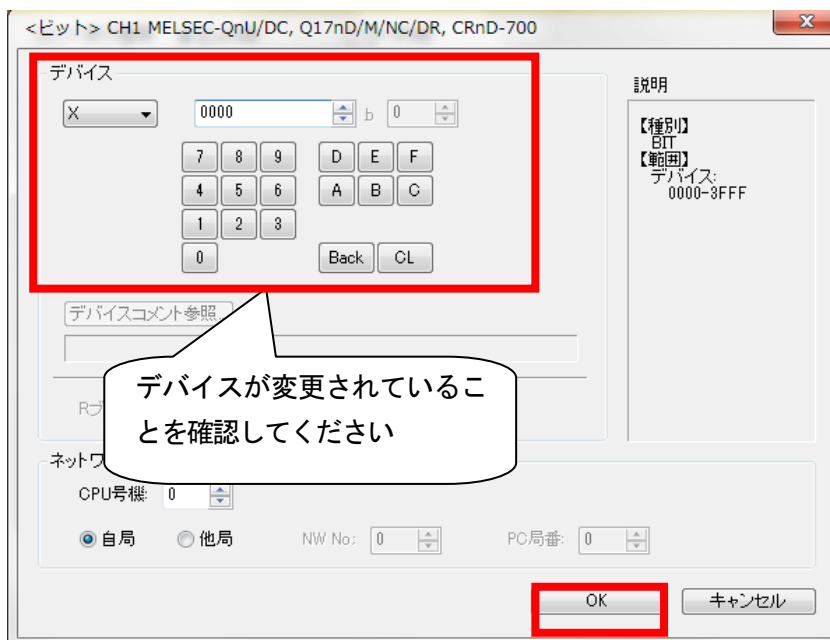
- ① ツールバー (オブジェクト) の「コメント表示 (ビット)」ボタンをクリックして、オブジェクトを画面上に配置します。

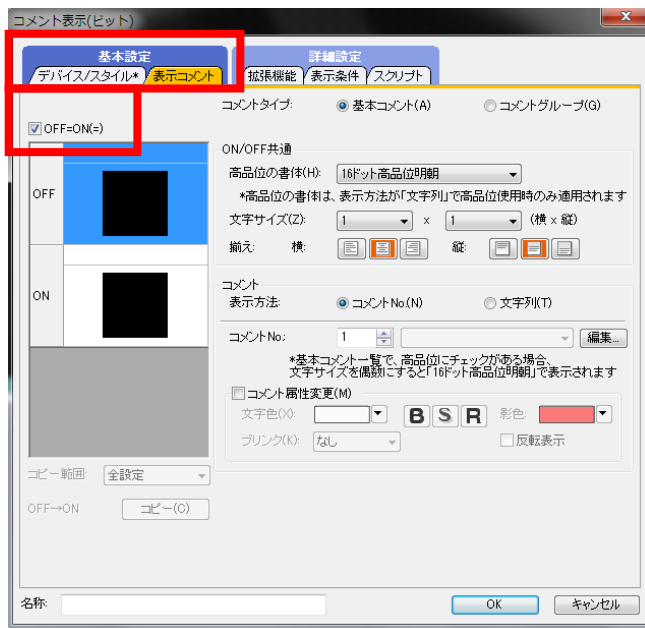


- ② コメント表示オブジェクトをダブルクリックすると、コメント表示 (ビット) ダイアログボックスを表示させます。

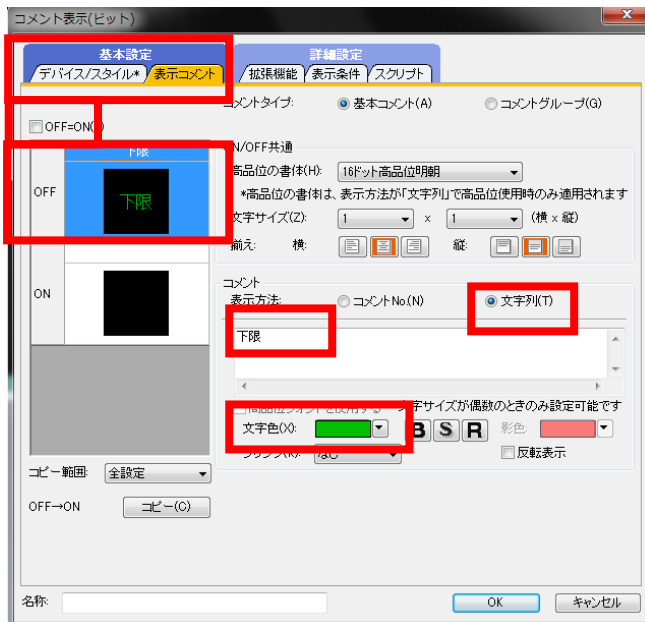


- ③ 「デバイス」ボタンをクリックして、「X0」を設定します。設定後は、OK を押してください。





④ 「表示コメント」タブをクリックします。



⑤ OFF=ON のレ点を外し、「OFF」ボタンをクリックします。

⑥ 「文字列」を選択します。

⑦ OFF 時に表示するコメントをテキストボックスに入力します。（“下限”と入力します。）

⑧ 「文字色」を緑に設定します。

⑨ 「ON」ボタンをクリックします。

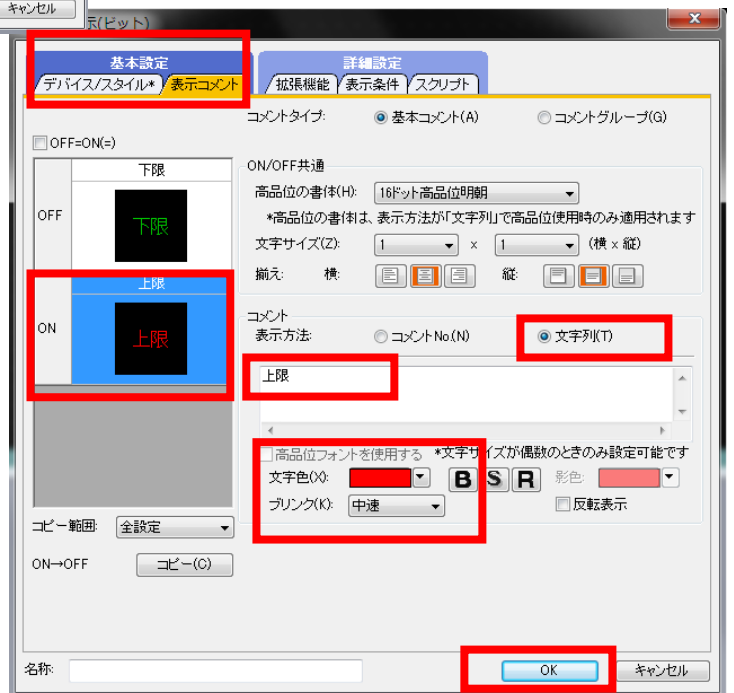
⑩ 「文字列」を選択します。

⑪ ON 時に表示するコメントを入力します。（今回は“上限”と入力します。）

⑫ 「文字色」を赤に設定します。

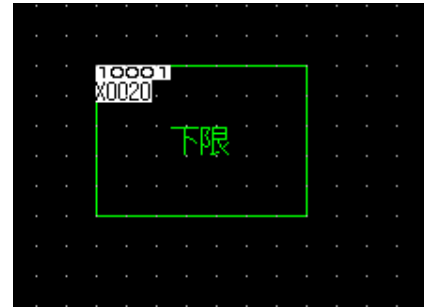
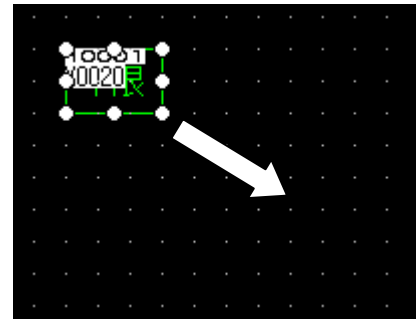
⑬ ブリンク（点滅表示）を行う場合は、ブリンクの種類を選択します。

⑭ “OK” ボタンをクリックします。



⑮コメントがすべて表示されるようにオブジェクト枠のサイズを調整します。

- a) カーソルをハンドルに移動するとサイズ変更用のカーソルに変わりますので、マウスの左ボタンを押し、そのまま表示する範囲の位置までマウスを動かします。
- b) 表示範囲が決まったらマウスの左ボタンを離します。ビットデバイスによるコメント表示の設定終了となります。



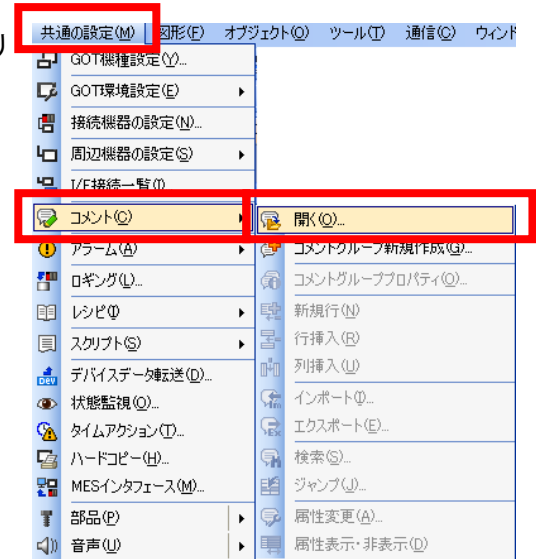
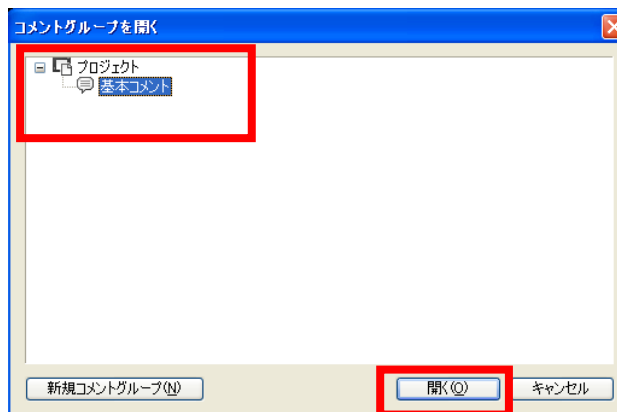
⑯外部スイッチ X0 を ON/OFF することにより、コメントが切り換わることを確認してください。

【コメントの登録方法】

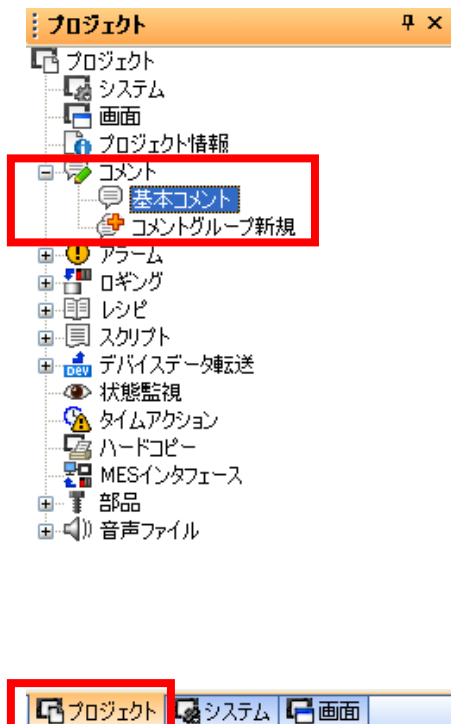
(例) ワードデバイス (D17) の数値 “1” ~ “4” によって “故障 1” ~ “故障 4” と表示させます。

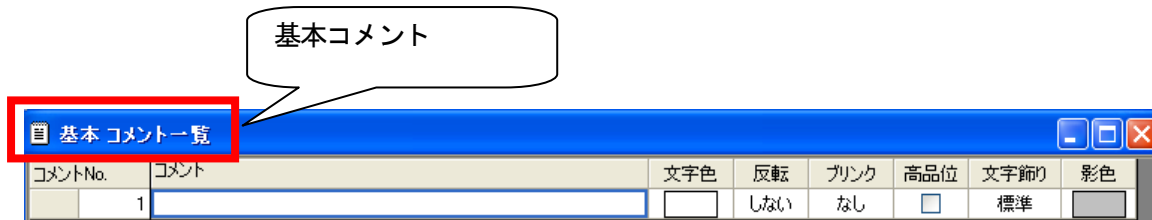
その場合、あらかじめ表示するコメントを登録しておく必要があります。

- ① [共通の設定] - [コメント] - [開く] メニューを選択します。
基本コメントを選択し、開くを押してください。
メニューバー



ワークスペース



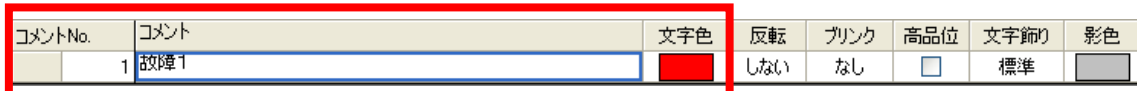


② [コメント一覧] ダイアログボックスが表示されます。

ので、登録したいコメントNoの「コメント」欄をクリックします。

③表示させるコメントを入力します。ここでは、“故障1”と入力します。

④「文字色」を“赤”に設定します。



⑤ツールバーのコメント：新規行をクリックして、コメント2を作成します。



⑥ ③～④を繰り返し、コメント4まで作成します。

コメント2：“故障2” “文字色：青”

コメント3：“故障3” “文字色：水色”

コメント4：“故障4” “文字色：紫”

コメントNo.	コメント	文字色	反転	プリンク	高品位	文字飾り	影色
1	故障1	赤	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	
2	故障2	青	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	
3	故障3	水色	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	
4	故障4	紫	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	

[実践的FAQ093 コメントの設定方法の詳細]

コメント設定方法の詳細を教えてください(効率よく入力するには)？

●複数コメントを全選択する方法

複数のコメントが存在する場合、以下の操作でコメントを全選択できます。

①左上のセル(「コメントNo.」の部分)をマウスでクリック

コメントNo.	コメント	文字色	反転	ブリンク	高品位	文字飾り	影色
1	故障1	赤	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
2	故障2	青	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
3	故障3	緑	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
4	故障4	紫	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>



コメントNo.	コメント	文字色	反転	ブリンク	高品位	文字飾り	影色
1	故障1	赤	しない	なし	<input checked="" type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
2	故障2	青	しない	なし	<input checked="" type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
3	故障3	緑	しない	なし	<input checked="" type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
4	故障4	紫	しない	なし	<input checked="" type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>

②右クリックで表示されるメニューの【全選択】をクリック

コメントNo.	コメント	文字色	反転	ブリンク	高品位	文字飾り	影色
1	故障1	赤	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
2	故障2	青	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
3	故障3	緑	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
4	故障4	紫	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>

新規作成(N)
切り取り(T)
コピー(C)
貼り付け(P)
行挿入(I)
列挿入(S)
削除(D)
文字列クリア(L)
Excelへコピー(E)
Excelから貼り付け(F)
すべて選択(A)
プロパティ(R)...

●異なるプロジェクト間でのコメントの流用

右クリックすることで、異なるプロジェクトのコメントに、表示文字を貼り付けることができます。

●一括で設定する方法

文字色、反転、ブリンク、高品位、文字飾り、影色の一括設定列を選択した状態で設定を行うことにより、一括で同じ設定にできます。

① 列を選択する

コメントNo.	コメント	文字色	反転	プリンク	高品位	文字飾り	影色
1	故障1	■	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■
2	故障2	■	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■
3	故障3	■	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■
4	故障4	■	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■

② 列を選択した状態で設定を変更する

コメントNo.	コメント	文字色	反転	プリンク	高品位	文字飾り	影色
1	故障1	■	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■
2	故障2	■	する	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■
3	故障3	■	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■
4	故障4	■	しない	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■

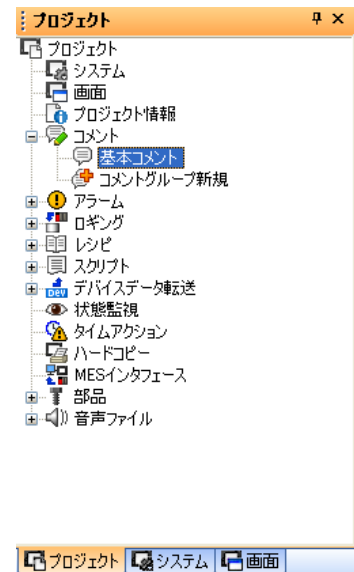
③ 他の部分が同じ設定内容になる

コメントNo.	コメント	文字色	反転	プリンク	高品位	文字飾り	影色
1	故障1	■	する	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■
2	故障2	■	する	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■
3	故障3	■	する	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■
4	故障4	■	する	なし	<input type="checkbox"/>	標準	■

ポイント

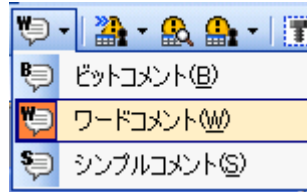
プロジェクトツリーからの操作

プロジェクトツリーで[基本コメント]をダブルクリックしても、[コメント一覧]ダイアログボックスが表示されます。

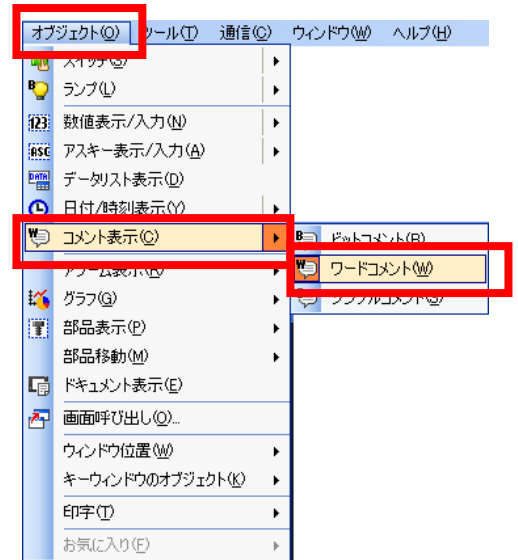


【ワードデバイス値に対応したコメント表示を行う設定】

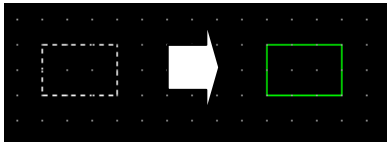
①ツールバー（オブジェクト）をクリックします。



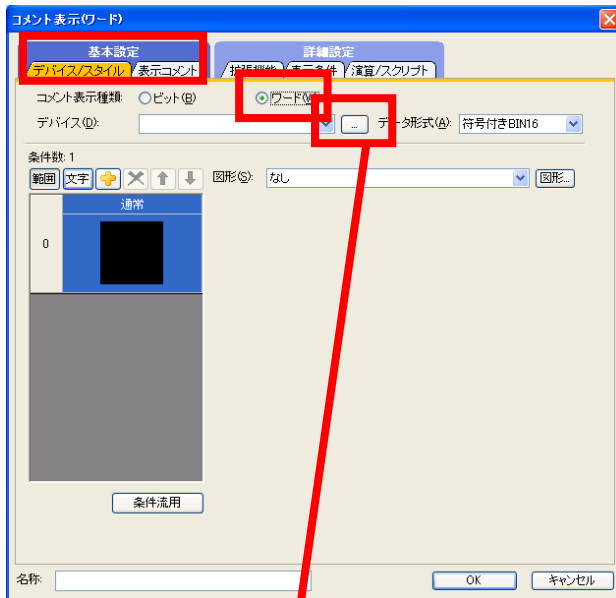
（オブジェクト）をクリックします。



②オブジェクトの表示位置を画面上で決定した後、コメントの表示範囲を設定します。

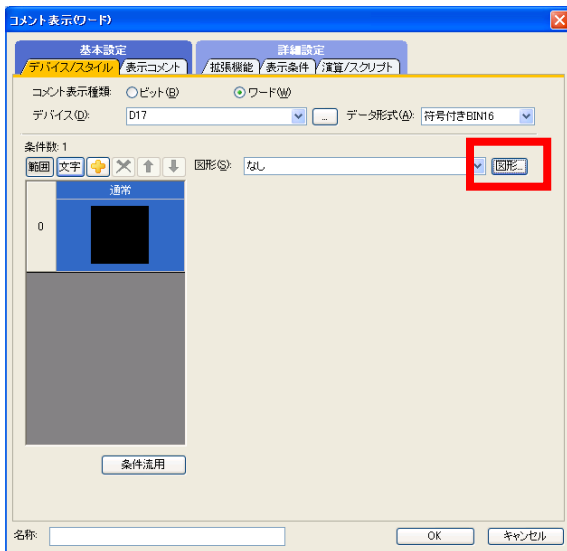


③コメント表示をダブルクリックします。すると、コメント表示（ワード）ダイアログボックスが表示されます。

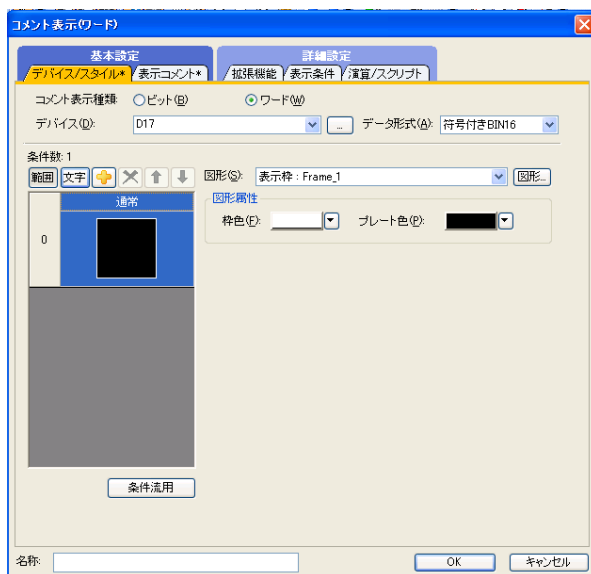
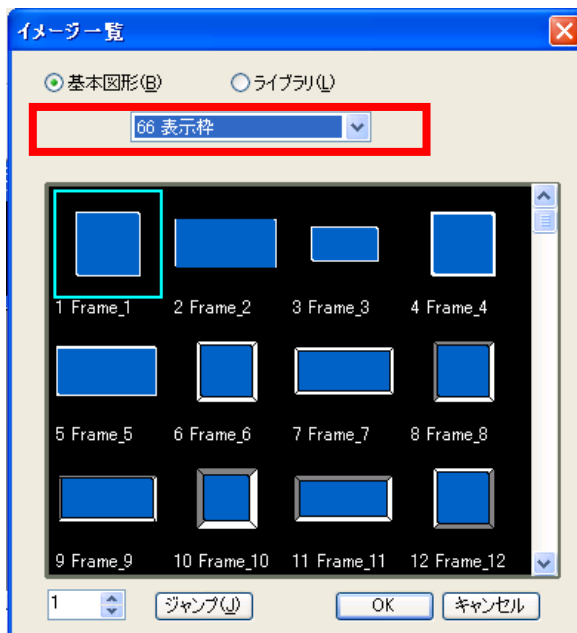


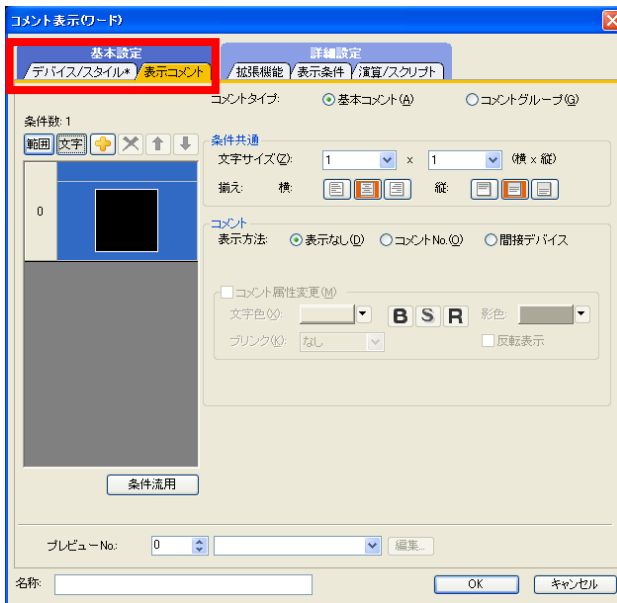
④デバイス ボタンをクリックし、“D17” に設定します。



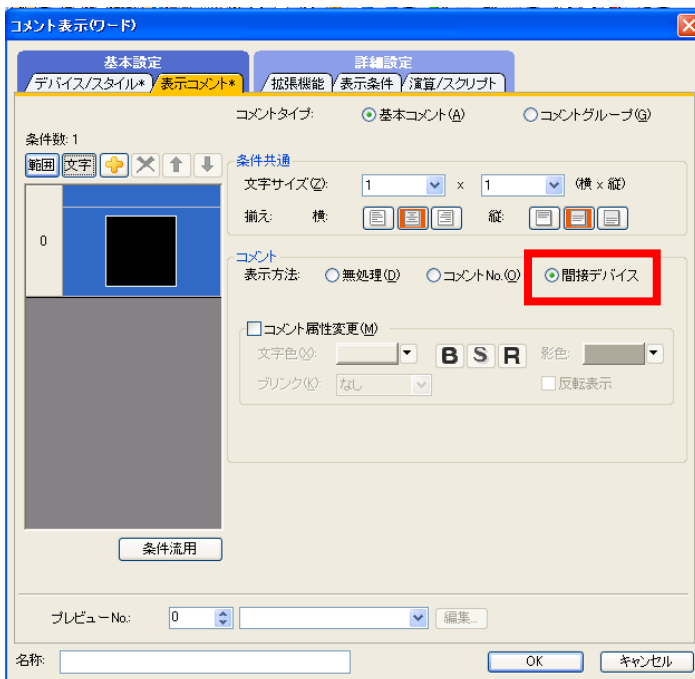


⑤表示用の図形枠を「66 表示枠 : 1Frame_1」に設定します。



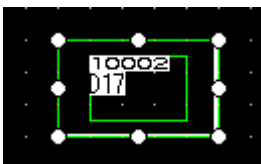


⑥【表示コメント】タブをクリックして、コメントの表示方法を設定します。



⑧コメントの表示方法を選択します。ワードデバイスでコメント表示を行う場合は、「間接デバイス」を選択します。

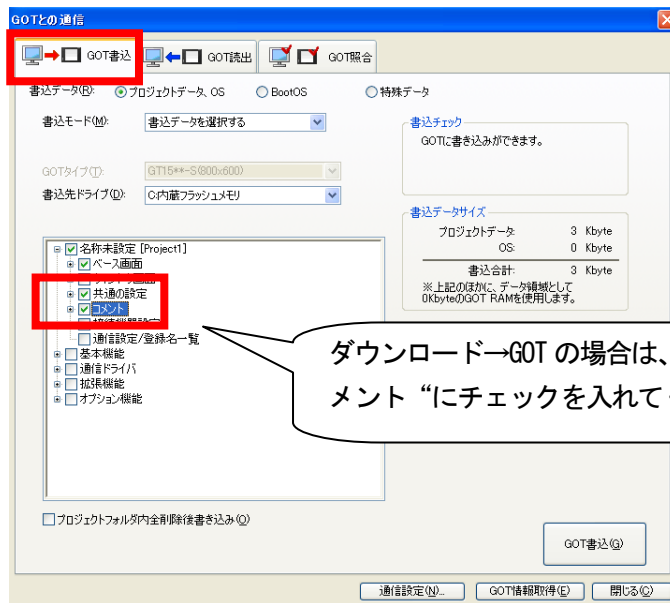
⑨”OK” ボタンをクリックします。



【ラダープログラム】



GOT にコメントが表示されない場合？

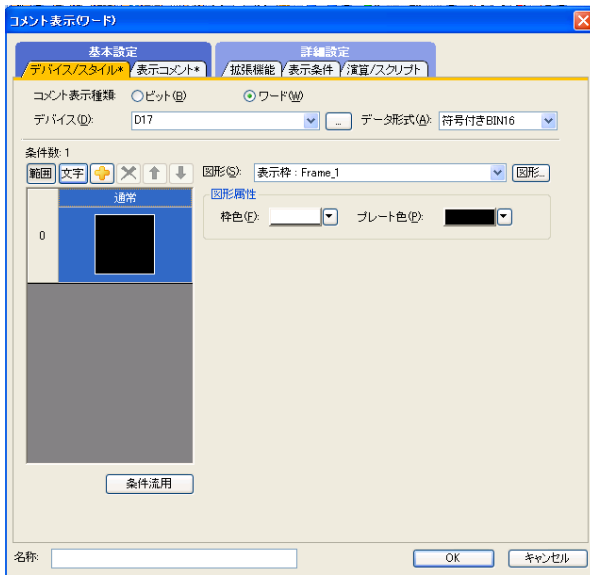



画面上にコメントを表示させたいときは？（プレビュー）



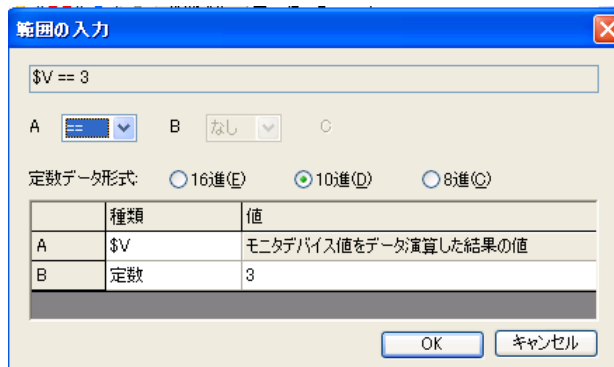
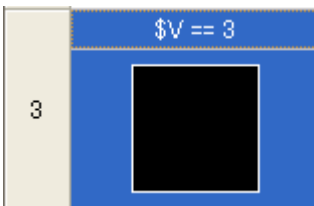
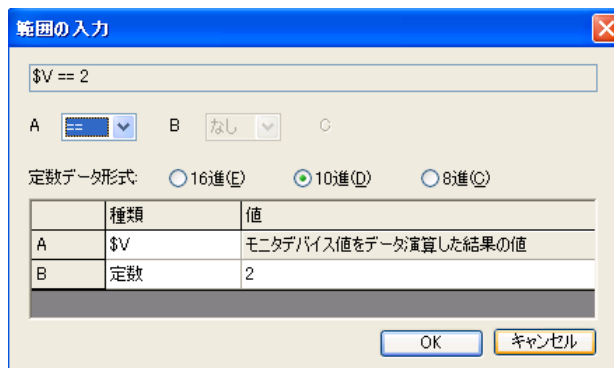
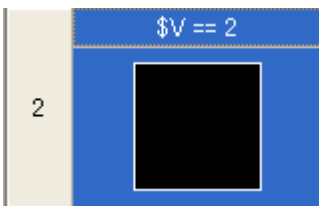
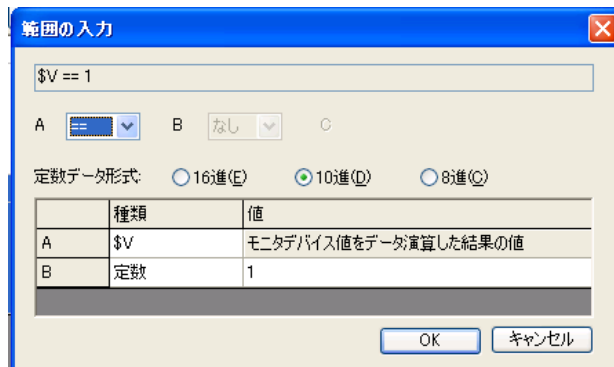
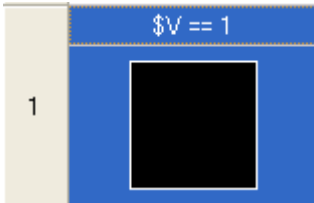
[実践的FAQ094 コメント直接入力]

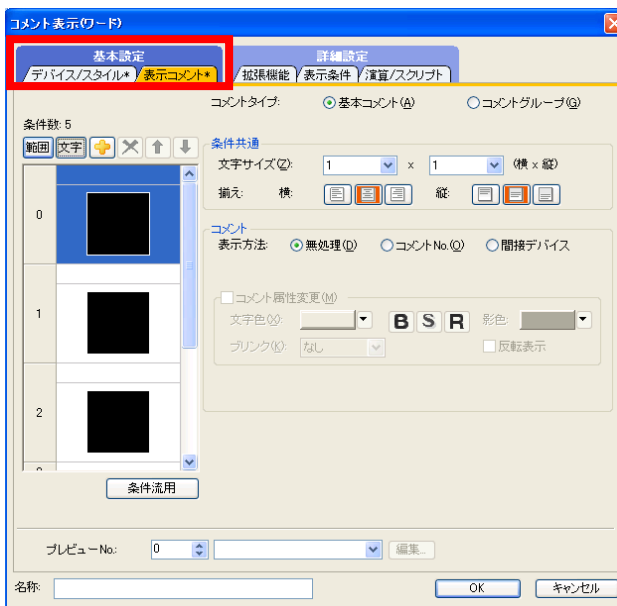
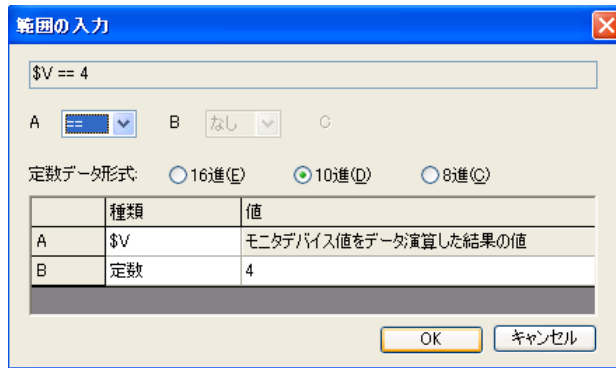
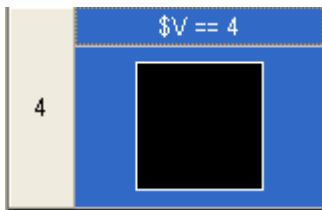
コメントを直接入力はできるか？



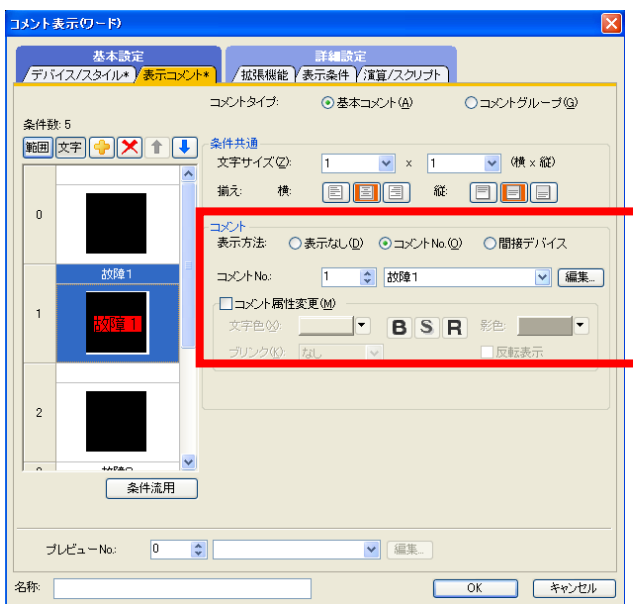
条件設定の を押し、条件を追加します。

条件設定





【表示コメント】タブをクリックして、コメントの表示方法を設定します。



表示方法をコメント No にして、コメント No を選択する



コメント
表示方法: 表示なし(D) コメント No.(Q) 間接デバイス

コメント No.: 1 故障1 編集...

コメント属性変更(M)

文字色(C): [] B S R 影色: []

ブリンク(B): なし [] 反転表示



コメント
表示方法: 表示なし(D) コメント No.(Q) 間接デバイス

コメント No.: 2 故障2 編集...

コメント属性変更(M)

文字色(C): [] B S R 影色: []

ブリンク(B): なし [] 反転表示



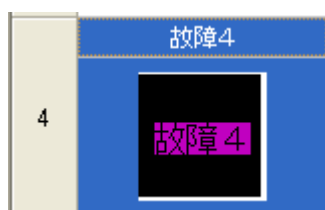
コメント
表示方法: 表示なし(D) コメント No.(Q) 間接デバイス

コメント No.: 3 故障3 編集...

コメント属性変更(M)

文字色(C): [] B S R 影色: []

ブリンク(B): なし [] 反転表示



コメント
表示方法: 表示なし(D) コメント No.(Q) 間接デバイス

コメント No.: 4 故障4 編集...

コメント属性変更(M)

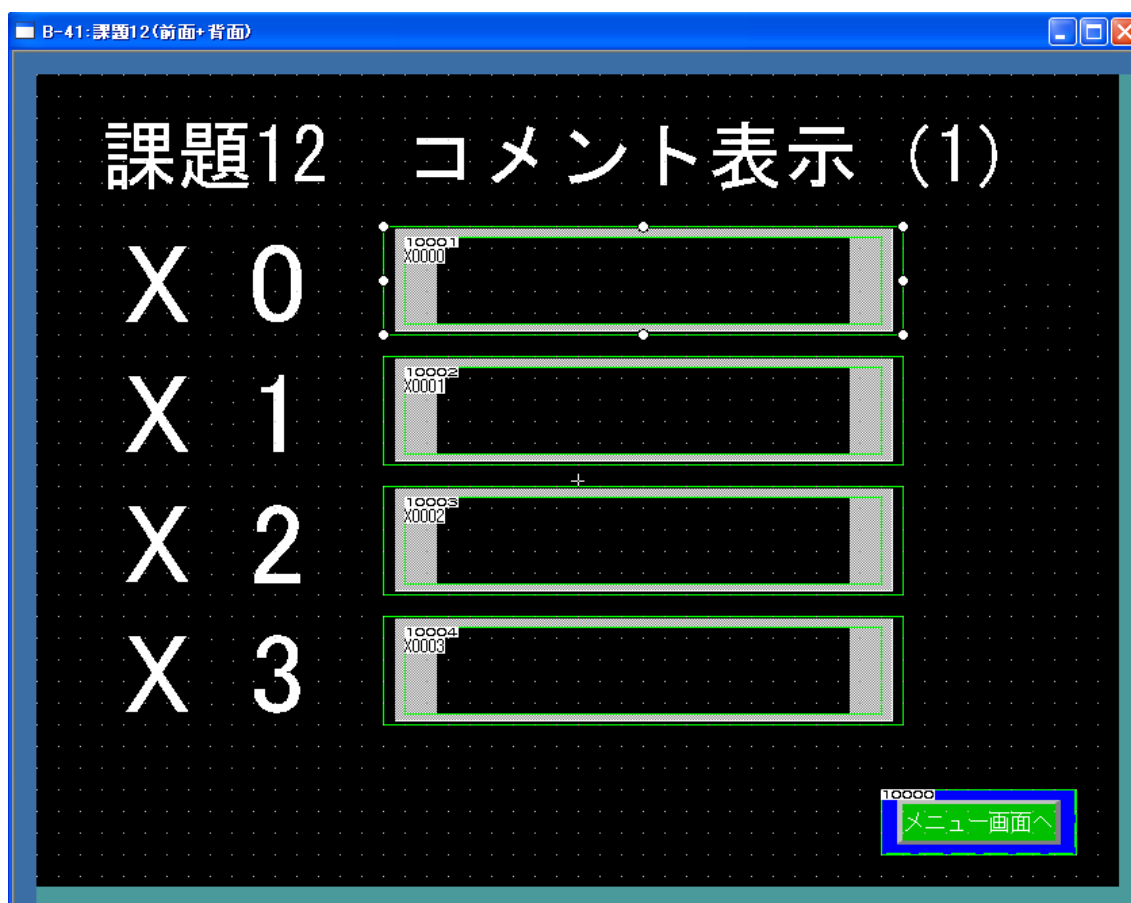
文字色(C): [] B S R 影色: []

ブリンク(B): なし [] 反転表示

課題12 コメント表示(1)

PBS1 を押すと、「PBS1 を押しています」
PBS2 を押すと、「PBS2 を押しています」
PBS3 を押すと、「PBS3 を押しています」
PBS4 を押すと、「PBS4 を押しています」
と表示される画面を作成してください。

(画面作成例)



課題13 コメント表示(2)

運転スイッチに触れると、15秒間だけ運転中ランプが点灯する。

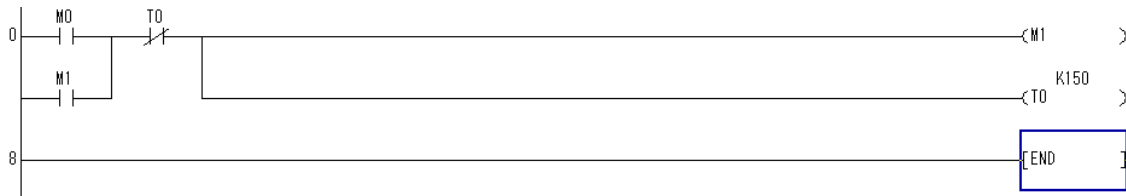
ランプの点灯にあわせてタイマを作動させ、タイマの現在値を表示する。

ランプ点灯後、「稼働中」と表示し、残り5秒で「終了間近」、残り2秒で「もうすぐ終了」と表示する。

(画面作成例)



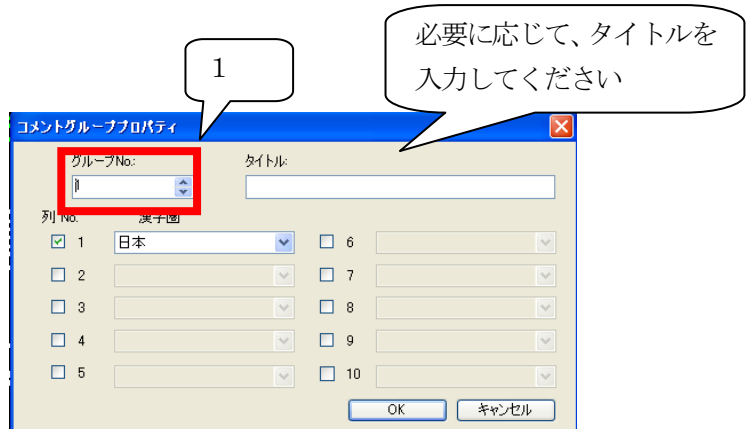
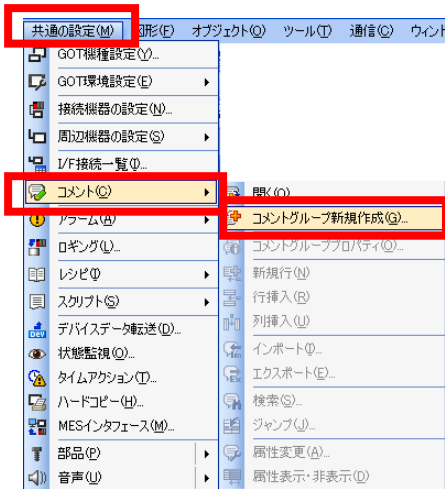
(シーケンスプログラム)



[実践的FAQ095 コメントグループ]

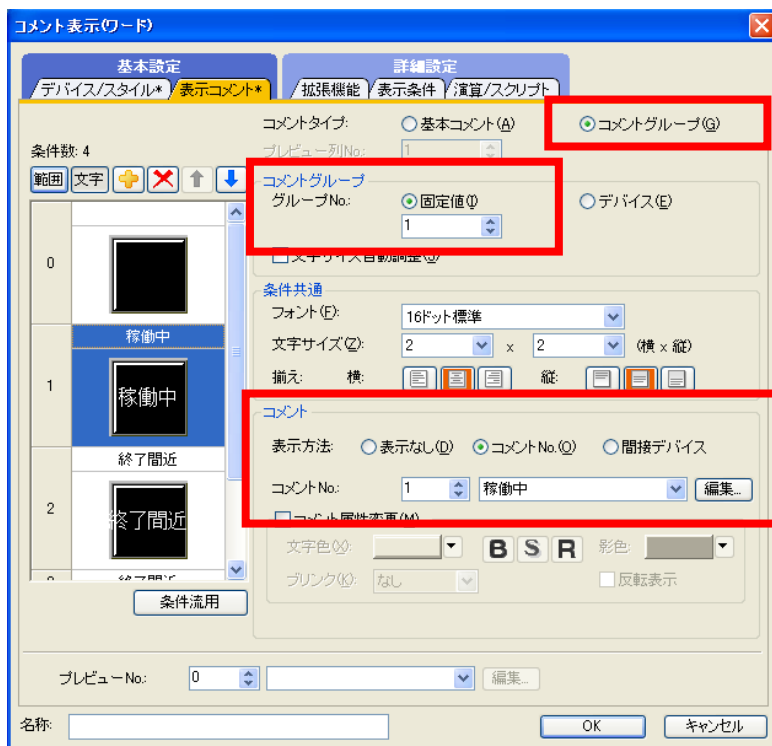
コメントグループは、基本コメントと同じように使えるのか？

①コメントグループの作成



列No.		高品位文字								
コメントNo.		文字色	反転	ブリンク	12ドットゴシック	12ドット明朝	16ドットゴシック	16ドット明朝	文字飾り	影色
1	稼働中		しない	なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標準	
2	終了間近		しない	なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標準	
3	もうすぐ終了		しない	なし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標準	

②設定方法 (コメント表示 (ワード) : 表示コメント)



4.9 アラーム表示機能

4.9.1 アラーム表示機能とは

ユーザが作成したコメントや、GOT/PLC/ネットワークのエラーを、アラームとして表示することができます。

(1) アラーム表示の種類

GOT は、下記に示す情報を表示することができます。

(a) ユーザが作成したコメントをアラームメッセージとして表示する

アラームの発生時に、ユーザが作成したコメントをアラームメッセージとして表示する機能です。

(拡張ユーザアラーム監視, 拡張ユーザアラーム表示, ユーザアラーム表示)

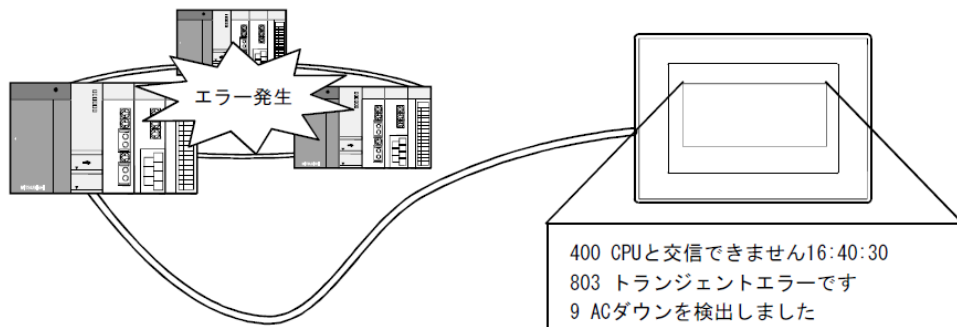
ユーザが独自にアラームを作成して表示したい場合に使用します。



(b) GOT, 接続機器, ネットワークのエラーをアラームとして表示する

GOT, 接続機器, ネットワークのエラーが発生時に、エラーコードとエラーメッセージを表示する機能です。(拡張システムアラーム監視, 拡張システムアラーム表示, システムアラーム表示)

GOT, 接続機器, ネットワークのエラーを表示したい場合に使用します。



(2) アラームの機能の種類について

アラームには、アラーム機能と拡張アラーム機能があります。

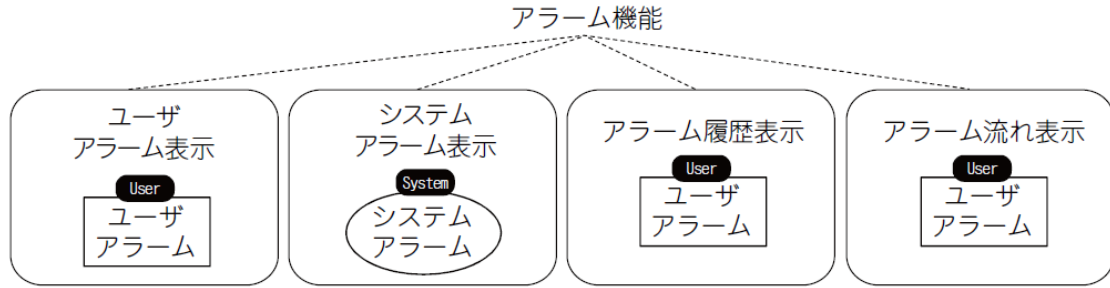
機能名			アラームの種類		表示方法	
			システムアラーム	ユーザ作成アラーム	画面単位で表示	ポップアップ表示 ^{*1}
アラーム機能	アラームリスト表示	発生中のアラームのみ表示します。	○	○	○	×
	アラーム履歴表示	発生したアラームの履歴の一覧を、表形式で表示します。	×	○	○	×
拡張アラーム機能	拡張ユーザアラーム (拡張アラーム監視)	ユーザが作成したアラームを検出し、アラームの履歴を保存します。 発生したアラームは、画面単位 / ポップアップ表示のどちらでも可能です。	×	○	○	○
	拡張システムアラーム (拡張アラーム監視)	GOT / シーケンサ / ネットワークのエラーを検出し、エラーの履歴を保存します。 発生したアラームは、画面単位 / ポップアップ表示のどちらでも可能です。	○	×	○	○

*1 表示画面に関係なく、アラーム発生時にアラームをポップアップ表示します。

ユーザが作成したコメントをアラームメッセージとして表示する場合は、コメントをあらかじめ登録しておく必要があります。

機能		表示するコメント
アラーム機能	ユーザアラーム表示, システムアラーム表示	基本コメントに登録
	アラーム履歴表示	基本コメント, コメントグループに登録
	アラーム流れ表示	
拡張アラーム機能	拡張ユーザアラーム表示, 拡張システムアラーム表示, 拡張アラームポップアップ表示	コメントグループに登録

アラーム機能には、下記に示す種類があります。



表示アラーム、表示項目、特長より、使用するアラーム機能を選択してください。

機能	表示アラーム	表示項目	特長
ユーザアラーム表示	ユーザアラーム	コメント、発生日時	オブジェクトごとに監視するデバイスを分けて表示可能。
システムアラーム表示	システムアラーム	エラーコード、エラーメッセージ、発生時刻	
アラーム履歴表示	ユーザアラーム	コメント、発生日時、復旧日時、確認日時、累積時間、発生回数	アラームの履歴の表示、CFカードへの保存が可能。
アラーム流れ表示	ユーザアラーム	コメント、発生日時	オブジェクトの配置の有無に関係なく、アラームを画面に表示可能。

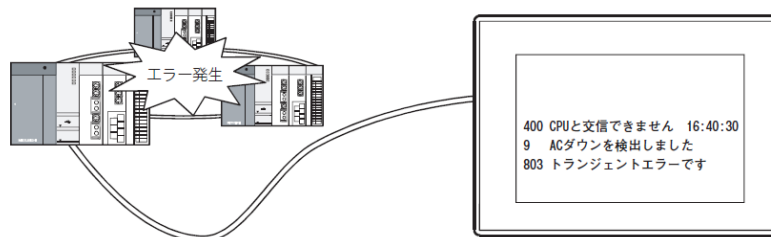
(1) ユーザアラーム表示

アラームの発生時に、ユーザが作成したコメントをアラームメッセージとして表示する機能です。ユーザが独自にアラームを作成して表示したい場合に使用します。



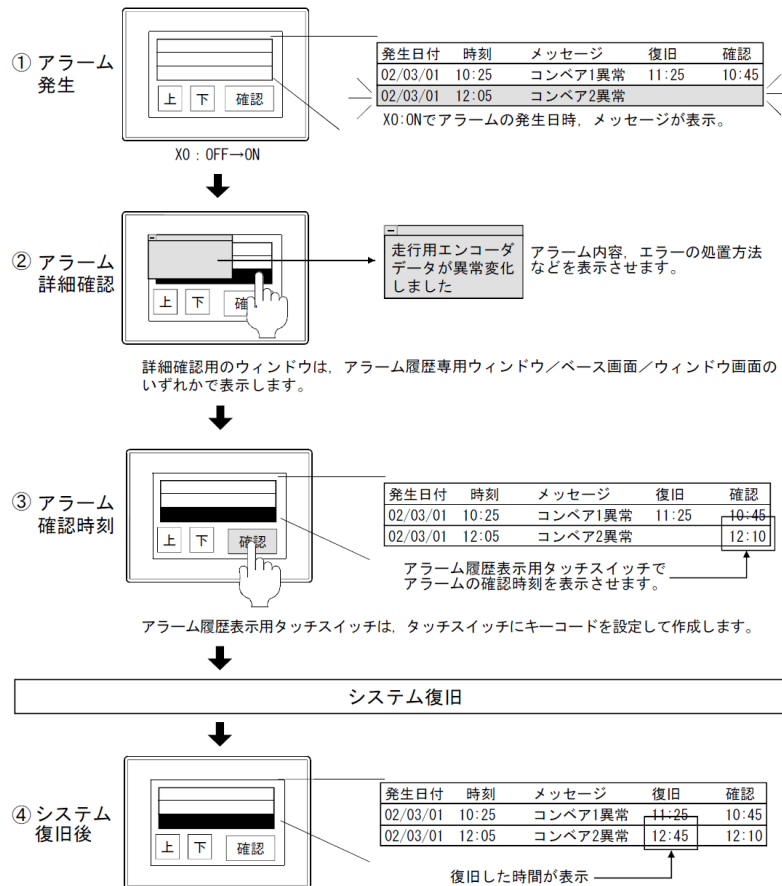
(2) システムアラーム表示

接続機器、GOT、ネットワークのエラーが発生時、エラーコードとエラーメッセージを表示する機能です。接続機器、GOT、ネットワークのエラーを表示したい場合に使用します。



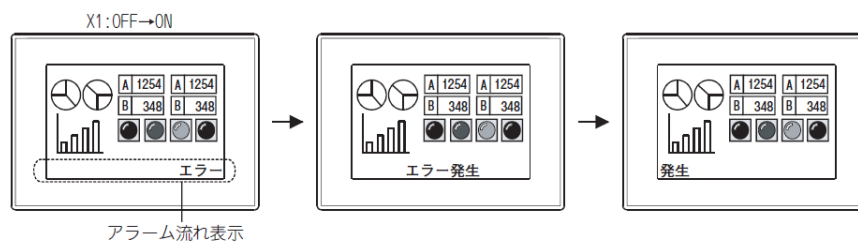
(3) アラーム履歴表示

ユーザアラームの発生時に、ユーザが作成したコメント、発生日時、復旧日時、確認日時、累積時間(アラームが発生していた時間)、発生回数を記憶して履歴の一覧を表形式で表示する機能です。



(4) アラーム流れ表示

ユーザアラームの発生時に、ユーザが作成したコメント、発生日時を流れ表示する機能です。アラーム表示オブジェクトを配置する必要がなく、長いコメントでもすべて表示できます



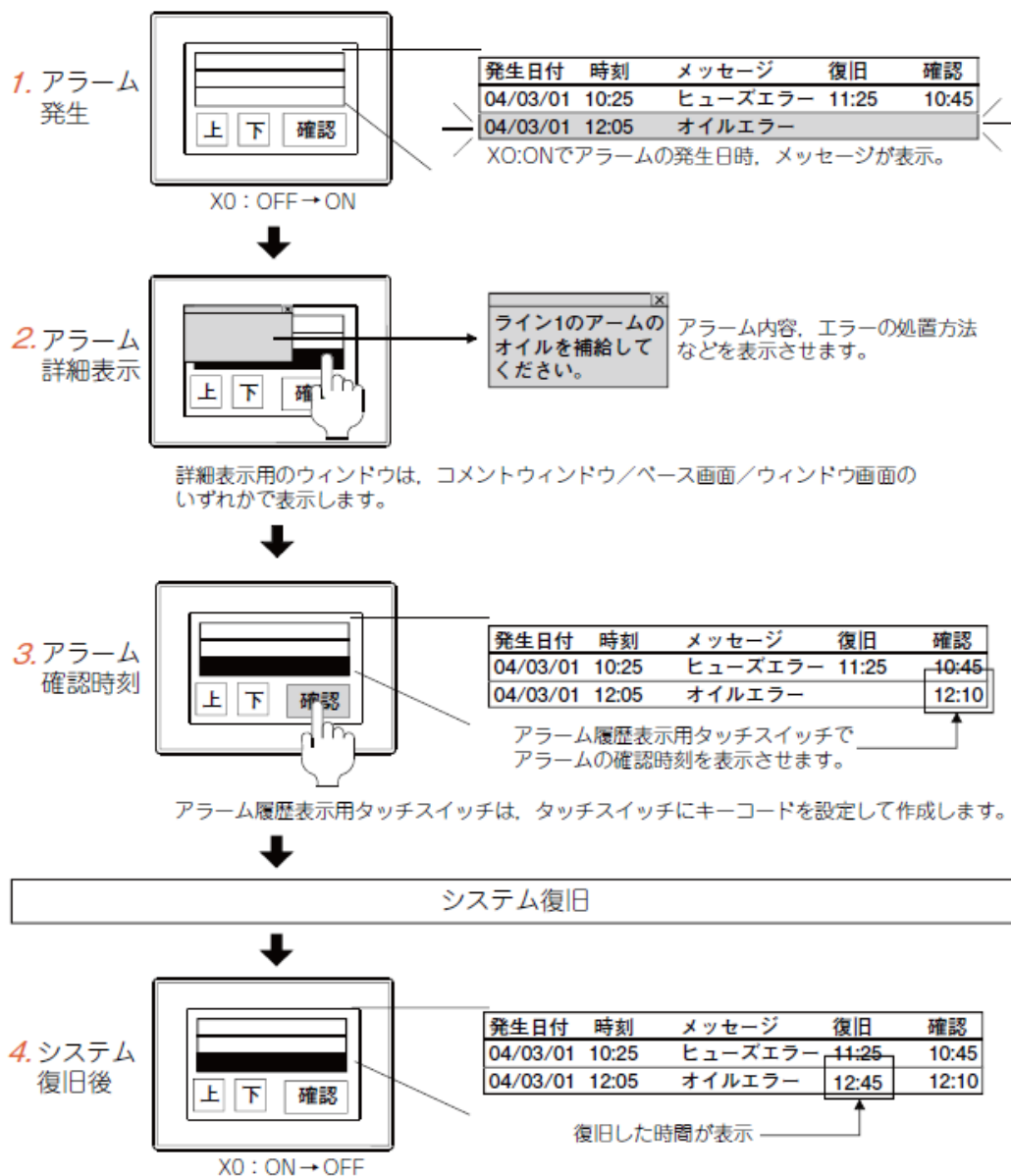
4.9.2 アラーム履歴表示機能

(1) アラーム履歴表示機能とは

アラーム検出用として指定したデバイスの条件成立時(ビット OFF→ON 時/ワードデバイス範囲)に、その発生時刻や表示コメントの内容を記憶して、アラームの発生履歴を一覧表示できます。

【アラーム活用例】

アラーム検出用として指定したデバイスの条件成立時(ビット OFF → ON 時 / ワードデバイス範囲)の発生時刻やコメントを GOT の内蔵メモリに保存して履歴の一覧を表示します。



(2) アラームの収集モードについて

アラームに関する情報を収集する方法として、「履歴モード」と「累積モード」の2種類の収集モードが用意されています。

① 履歴モード

アラーム発生ごとに、GOT の内蔵メモリに発生したアラームの内容を追加するモードです。(アラームが発生するごとに、履歴に追加します。)

アラーム情報は、下記に示す件数まで保存可能です。

- ・GT16, GT15, GT SoftGOT1000 の場合:3072 件
- ・GT11 の場合:2048 件
- ・GT10 の場合:1000 件

② 累積モード

最新のアラーム状態と、今までに発生したアラームの回数や時間を、アラームごとに累積して収集します。

アラーム発生時には下記の情報を収集して表示できます。

発生日付	時刻	メッセージ	復旧	確認	累積	回数
04/06/01	20:00	電源ユニット異常	—	—	—	1
04/06/01	18:30	油圧異常	—	18:50	—	2
04/06/01	16:10	駆動ユニット異常	16:30	16:20	00:20	2

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

①発生日時

アラームが発生した日時を表示します。

②メッセージ

アラーム発生時に、アラームに割り付けたメッセージを表示します。

③復旧日時

アラームが復旧した日時を表示します。

④確認日時

アラーム発生を確認した日時を表示します。

⑤累積時間(累積モードのみ)

過去にアラームが発生した時間を含めた、アラーム発生時間の総合計を表示します。

⑥発生回数(累積モードのみ)

アラームが発生した回数を表示します。

(3) 監視できる最大デバイス点数とモニタデバイスの種類

(a) モニタデバイスの種類

- ・ビットデバイス
- ・ビットデバイス(ワードのビット指定)
- ・ワードデバイス(デバイス値が、指定した範囲内になるとアラーム発生)

(b) 最大モニタ点数

GT16/15

- ・ビットデバイス:3072 点
- ・ワードデバイス(16 ビット):1024 点
- ・ワードデバイス(32 ビット):512 点

GT11

- ・モニタするデバイス種類に関係なく、最大 256 点。

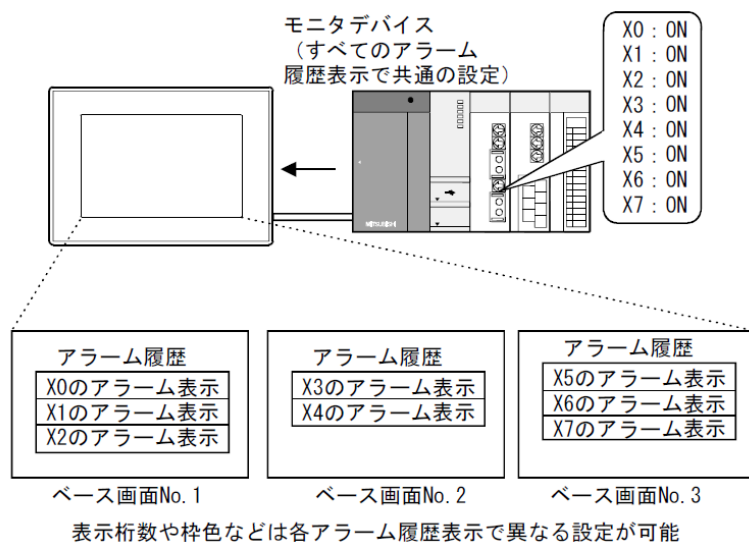
※ビットデバイスモニタ時のランダム指定について

モニタデバイスのランダム指定を行う場合は、ビットデバイスとビットデバイス(ワードのビット指定)は混在できません。

(4) 本機能使用時の制約と設定位置について

監視するデバイス点数、デバイス名の設定は1プロジェクトにつき1設定のみです。

各ベース画面にアラーム履歴表示機能を1オブジェクトごと設定できますが、すべて同じデバイスをモニタします。

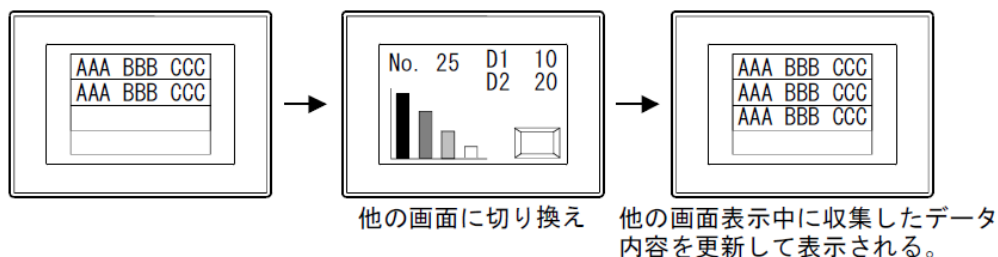


(5) アラーム履歴データの収集・保持について

(a) アラーム履歴データの収集

アラーム履歴データは、GOT が常時データ収集し、GOT 内に保持しています。

アラーム履歴表示が配置されていないモニタ画面の表示中でもアラーム履歴データは常に収集され、更新されます。



(b) アラーム履歴データの消去

GOT 電源 OFF、またはリセットによりすべて削除されます。

アラーム履歴用スイッチのキー操作(タッチスイッチ)により、1 件ごとまたは全件の消去ができます。

(c) アラーム履歴データの停電保持

メモリカードに保存すると、GOT が電源 OFF してもアラーム履歴データを保持できます。

GOT の電源を OFF して、次回立ち上げたとき、OFF する直前の状態を表示することができます。

(d) アラームの履歴件数が上限を超えた場合(「収集モード」が「履歴モード」の場合)
 オプション(共通)タブで、「履歴数を超えた時には最も古い履歴を消去する」をチェックしている場合、収集できるアラームの履歴件数の上限をこえると、古い履歴から消去されていきます。

[アラームの履歴件数の上限]

- ・ GT16, GT15, GTSOFTGOT1000 の場合: 3072 件
- ・ GT11 の場合: 2048 件
- ・ GT10 の場合: 1000 件

備考

アラーム履歴データを CSV 形式のデータでメモカードに保存することにより、パソコンの表計算ソフトで読み込んで編集することができます。

(6) 詳細内容の表示方法について

エラー表示になったデバイスの詳細内容を、3 種類の方法(コメントウィンドウ/ウィンドウ画面/ベース画面)で下記のように表示できます。

①ワンタッチ操作により詳細表示画面を表示

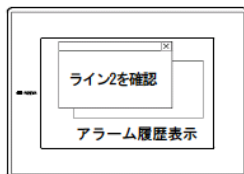
発生日付時刻	メッセージ	復旧	確認
02/02/01 10:25	ライン1異常	11:25	10:45
02/02/01 12:05	ライン2異常		12:28
02/02/01 12:35	ライン3異常		

②タッチスイッチのキー入力により詳細表示画面を表示

発生日付時刻	メッセージ	復旧	確認
02/02/01 10:25	ライン1異常	11:25	10:45
02/02/01 12:05	ライン2異常		12:28
02/02/01 12:35	ライン3異常		

詳細表示

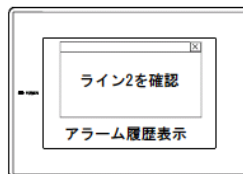
コメントウィンドウで表示
 (アラーム履歴専用ウィンドウ画面)



指定したコメントを表示します。

詳細内容や処置方法をあらかじめコメントとして登録しておきます。

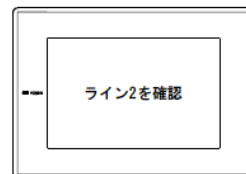
ウィンドウ画面で表示
 (オーバーラップウィンドウ)



指定したベース画面・ウィンドウ画面を表示します。

詳細内容や処置方法をあらかじめウィンドウ画面、ベース画面で作画しておきます。

ベース画面で表示



4.9.3 画面作成例 (故障情報表示)

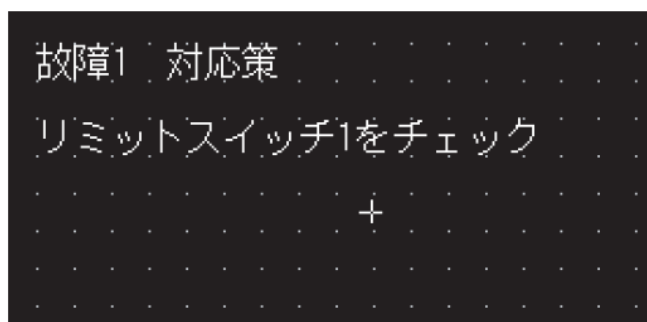
ここでは、ビットデバイス” X2~X5” が ON 状態になったときに、アラーム履歴表示により各ビットデバイスの ON 状態(エラー状態)について” コメント NO.1~NO.4” ,” 発生日付” ,” 時刻” ,” 復旧時間” の表示や、発生コメント行をタッチするとウィンドウ画面による詳細表示などを表示することができる画面の設定例について説明します。

作成画面例

The screenshot shows an alarm history table with columns for date, time, message, and restoration time. Below the table is a control panel with various touch switches. Red callout boxes point to specific elements:

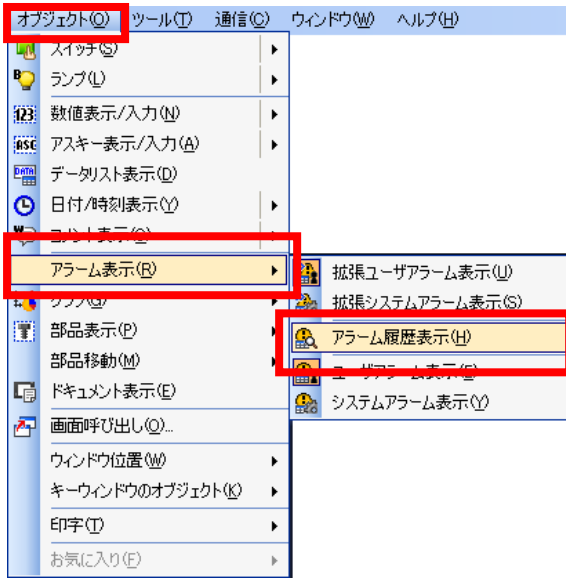
- アラーム履歴表示画面**: Points to the main table area.
- タッチスイッチ(確認用)**
(アラームを確認した日時を表示します)
- タッチスイッチ(履歴削除用)**
(選択したアラーム内容の表示を消去します)
- タッチスイッチ(上下スクロール用)**
(アラーム履歴が10以上になったときに表を上下スクロールさせます)
- タッチスイッチ**
(カーソル表示/非表示用)

詳細表示用ウィンドウ画面作成例

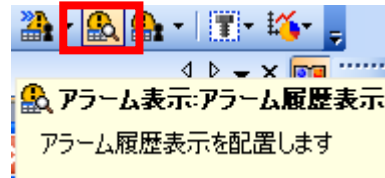


【アラーム履歴表示オブジェクトの設定】

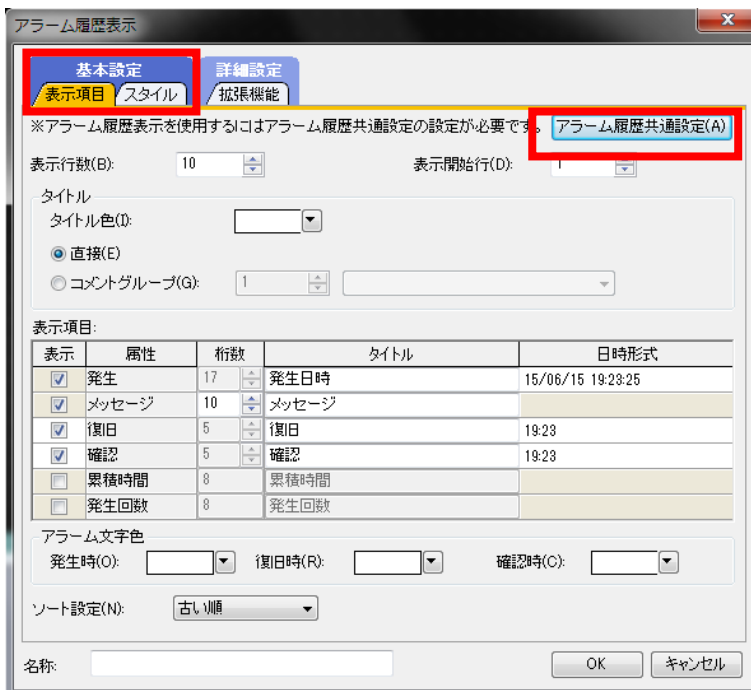
(a) 共通設定



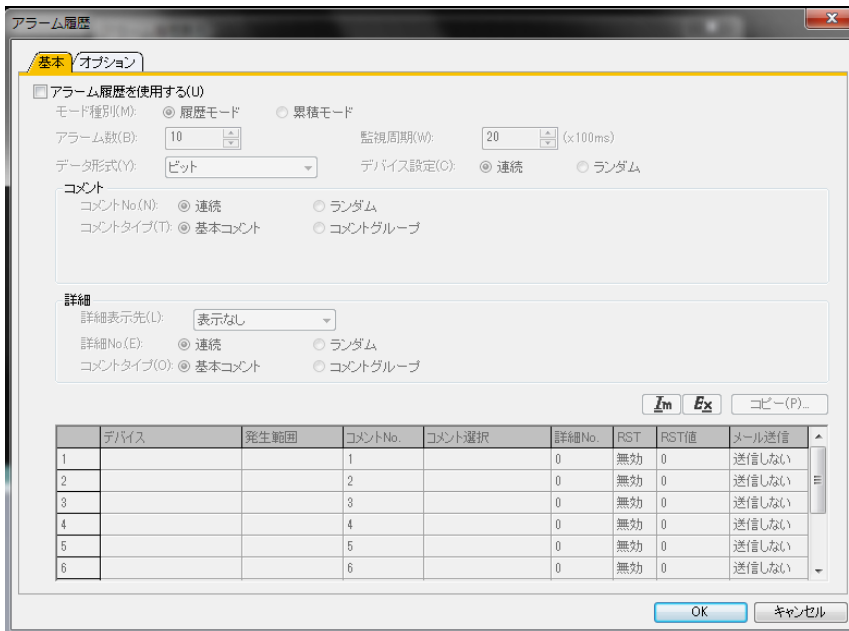
① [オブジェクト]-[アラーム表示]-[アラーム履歴表示]メニューを選択します。



② 「アラーム履歴表示」オブジェクトを配置したい位置にカーソルを移動して、クリックします。



③ 配置したアラーム履歴表示をダブルクリックします。[アラーム履歴表示]ダイアログボックスが表示されます。“アラーム履歴共通設定”ボタンをクリックすると[アラーム履歴]ダイアログボックスが表示されます。



アラーム履歴共通の設定(【デバイス(共通)】/【オプション(共通)】タブ)

アラーム履歴共通の設定は、1プロジェクト単位の設定です。ベース画面ごとにそれぞれ設定する必要はありません。

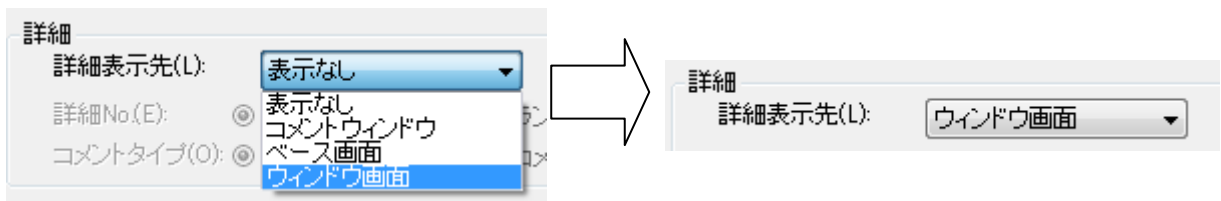
- ④「アラーム履歴を使用する」チェックボックスにチェックを入れます。

アラーム履歴を使用する(U)


- ⑤モニタするデバイスの数を設定します。ここでは、ビット信号”X0～X4”の4点分のアラームを設定するので、「アラーム数」を”4”に設定します。

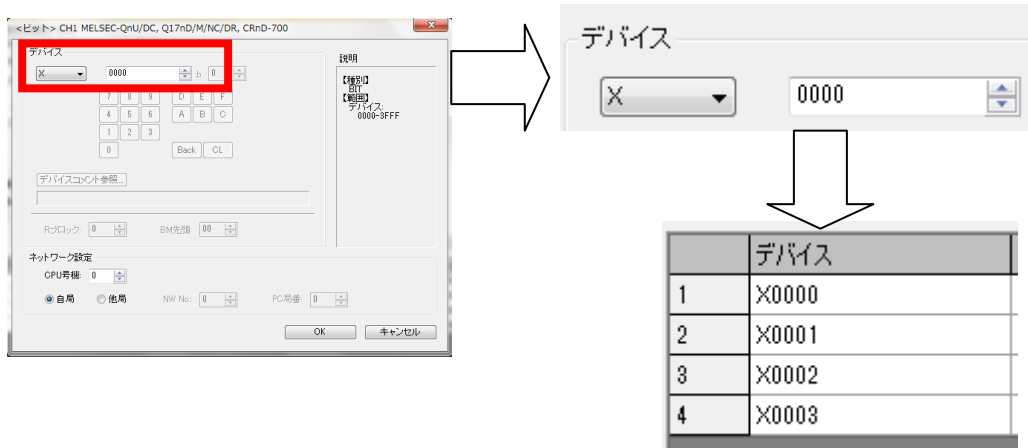
アラーム数(B): 4

- ⑥「詳細表示先」を”ウィンドウ画面”に選択します。



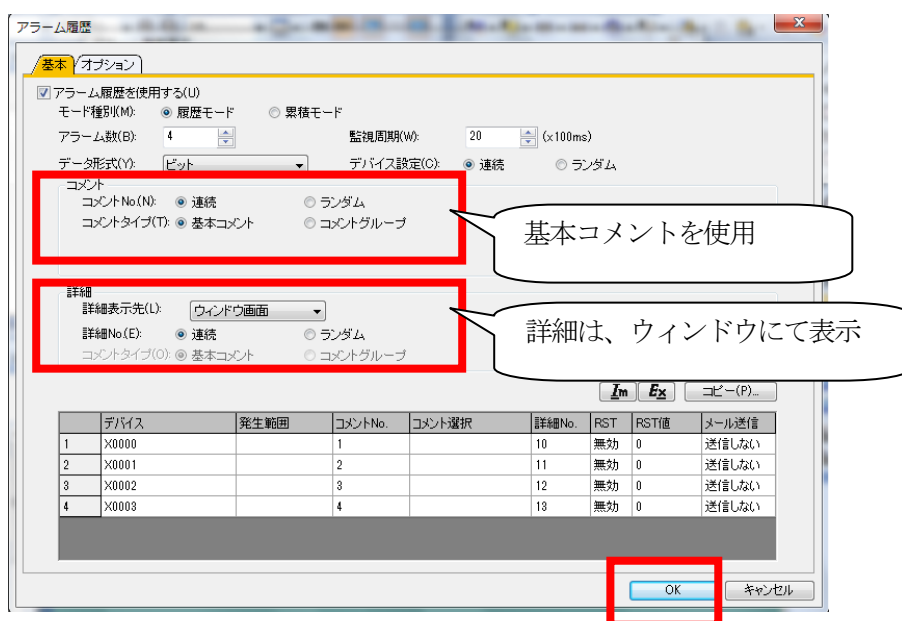
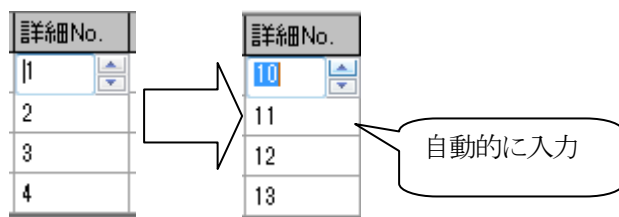
- ⑦リストの先頭を選択し、Devボタンをクリックして、モニタデバイスを”X0”に設定します。X1～X4のデバイスが連続して割り付けられます。

	デバイス	発生範囲	コメントNo.	コメント選択	詳細No.	RST	RST値	メール送信
1			1		1	無効	0	送信しない
2			2		2	無効	0	送信しない
3			3		3	無効	0	送信しない
4			4		4	無効	0	送信しない



⑧ 「詳細 No.」で”10”を設定します。詳細表示させるウィンドウ画面 No. になります。

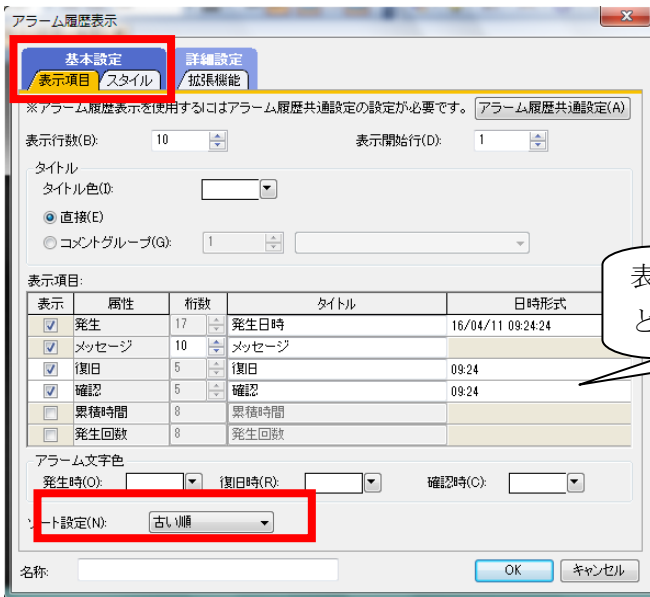
	デバイス	発生範囲	コメントNo.	コメント選択	詳細No.	RST	RST値	メール送信
1	X0000		1		1	無効	0	送信しない
2	X0001		2		2	無効	0	送信しない
3	X0002		3		3	無効	0	送信しない
4	X0003		4		4	無効	0	送信しない



⑨” OK “ボタンをクリックします。

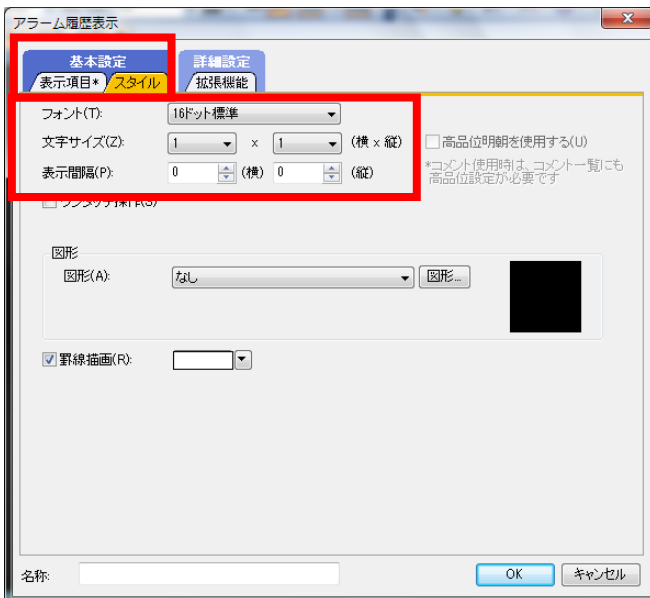
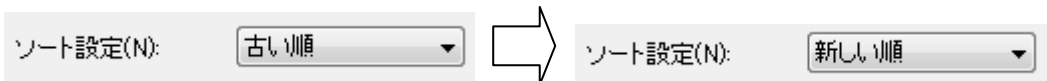
(b) アラーム履歴表示設定の設定(【基本】/【枠色】/【オプション】タブ)

ベース画面ごとに、設定するアラーム履歴表示の表示フォーマット(表示行数/アラーム枠色)を設定します。



①ソート設定を「新しい順」に設定します。

表示項目が選択することができます



②「基本設定」の「スタイル」タブを選択します。

文字サイズは、1×1または、2×2を選択してください。



③「表示間隔」を“16×0”で設定します。



④詳細表示をウィンドウ画面で表示させるときは、「ワンタッチ操作」をチェックします。

ワンタッチ操作(D)

⑤「罫線描画」をチェックして、白色に設定します。

罫線描画(R): ▼

⑥” OK “ボタンをクリックします。

(d) コメントの設定

基本コメント No. 1~4 を以下のように設定します。(設定されているかを確認してください)

【コメントの登録方法】を参照してください。

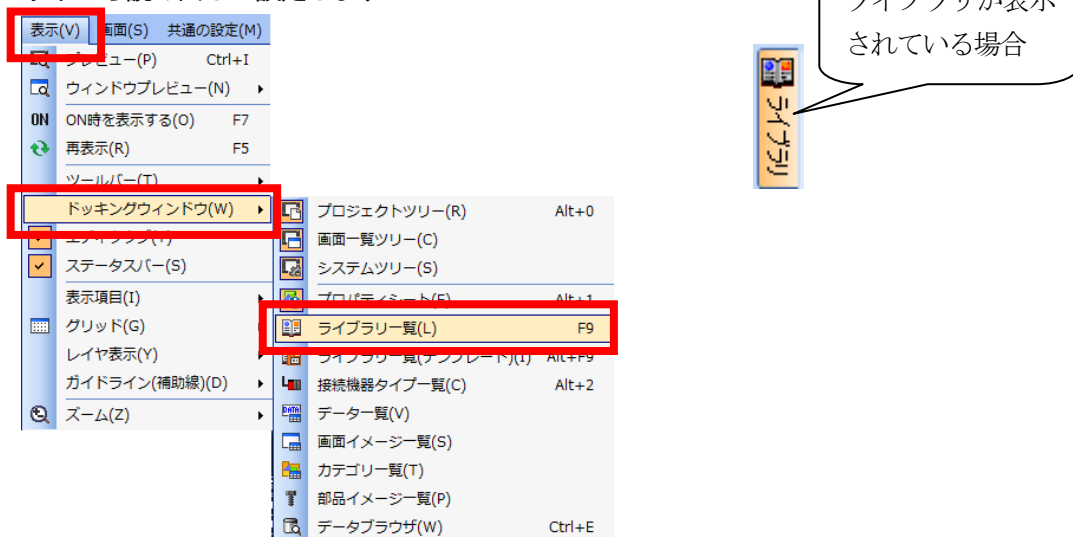
コメントNo.	コメント	文字色	反転	ブリンク	高品位	文字飾り	影色
1	故障1	赤	する	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
2	故障2	青	する	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
3	故障3	緑	する	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>
4	故障4	紫	する	なし	<input type="checkbox"/>	標準	<input type="checkbox"/>

【アラーム履歴表示機能用スイッチの設定】

アラーム履歴表示用カーソルの表示/移動, アラーム内容の詳細表示など, アラーム履歴表示で使用するタッチスイッチを設定します。

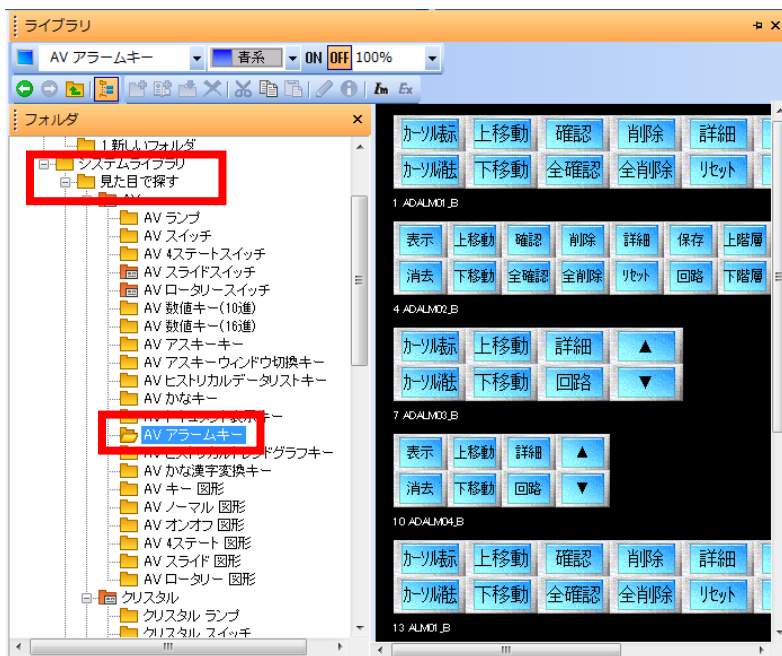
①アラーム履歴表示用タッチスイッチを画面に配置する

アラーム履歴表示用タッチスイッチは, GT Designer3 のライブラリに登録されているので, ライブラリから読み出して設定します

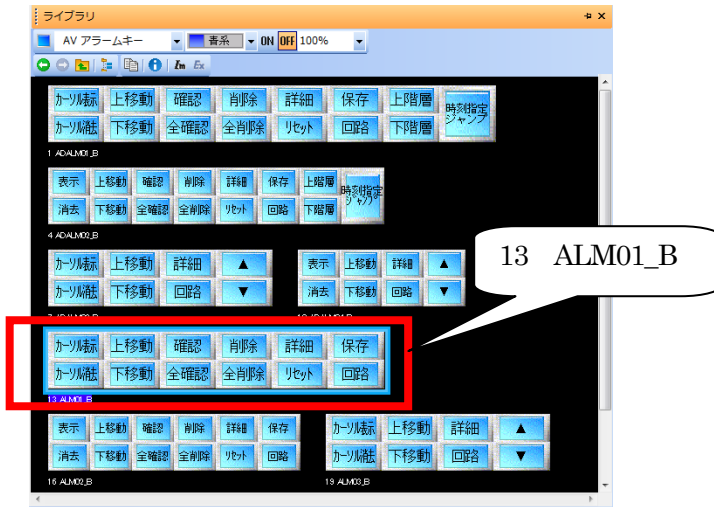


②「ライブラリ」ワークスペースで, 「AV アラームキー」を選択します。

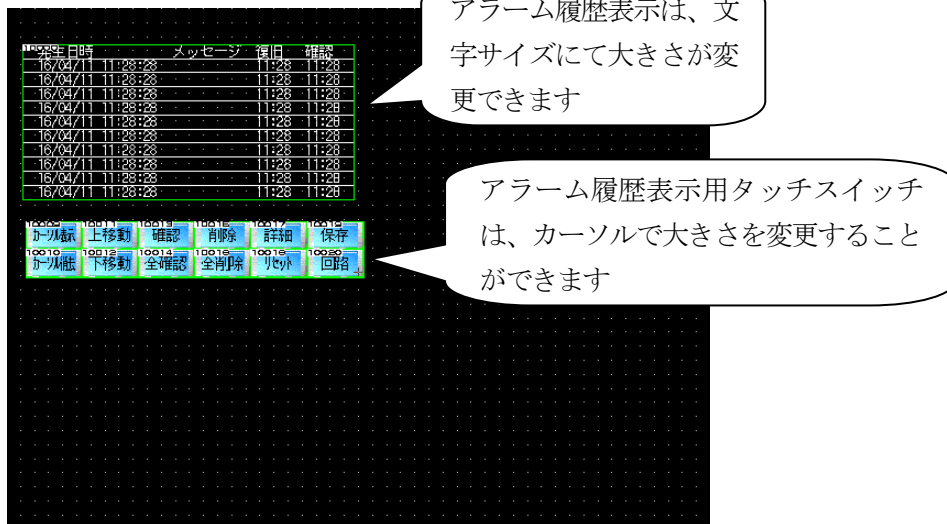
ライブラリイメージ一覧ウィンドウが表示されますので, “ADALM01_B” を選択します。



③アラーム履歴表示用タッチスイッチを配置する位置にカーソルを移動し、クリックします。



文字サイズ：1×1



文字サイズ：2×2



④アラーム履歴表示用タッチスイッチの設定と機能内容

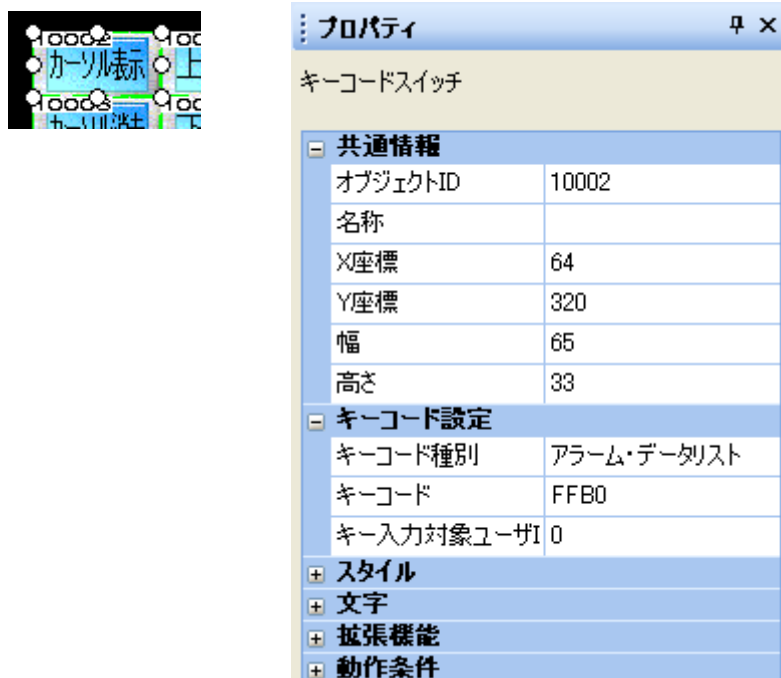
アラーム履歴表示用タッチスイッチの種類は、タッチスイッチの「キーコード」の値により変更できます。

貼り付けたアラーム履歴用タッチスイッチの機能を、変更する場合の手順を以下に示します。

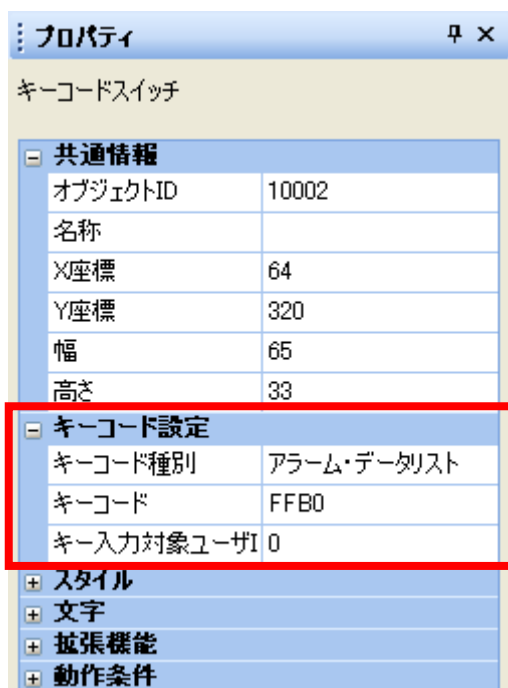
⑤タッチスイッチを右クリックして、「グループ化解除」を選択します。



⑥プロパティシートを表示させます。



⑦プロパティシート内の「キーコード」の値を変更すると、スイッチの機能を変更することができます。



下記にアラーム履歴表示用タッチスイッチの種類とキーコードの値を示します。

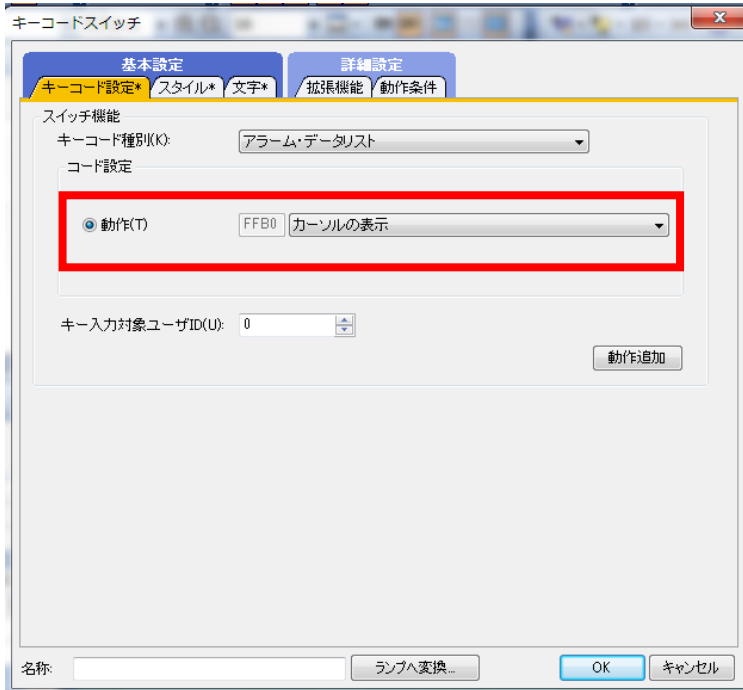
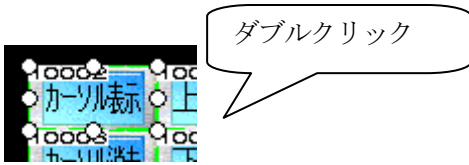
スイッチ名	機能内容	キーコード
カーソル表示	カーソルの表示	FFB0H
カーソル消去	カーソルの消去	FFB1H
上移動	カーソルの上移動（カーソル非表示時、表示内容の改頁を行う）	FFB2H
下移動	カーソルの下移動（カーソル非表示時、表示内容の改頁を行う）	FFB3H
確認*1	選択アラームの日時表示（確認）	FFB4H
全確認	すべてのアラームの日時表示（全確認）	FFB5H
削除*1	復旧している選択アラームの消去（削除）	FFB6H
全削除	復旧しているすべてのアラームの消去（全削除）	FFB7H
詳細	詳細情報の表示	FFB8H
リセット*1	指定デバイスのリセット	FFB9H
保存	アラーム内容のメモ리카ード保存	FFBBH
回路	回路モニタ機能を起動し、アラームデバイスを検索する	FFBCH
上階層	拡張アラーム表示用のスイッチです。本機能では使用できません。	FFC2H
下階層	拡張アラーム表示用のスイッチです。本機能では使用できません。	FFB8H

*1 カーソル表示/カーソル消去のスイッチと一緒に使用してください。

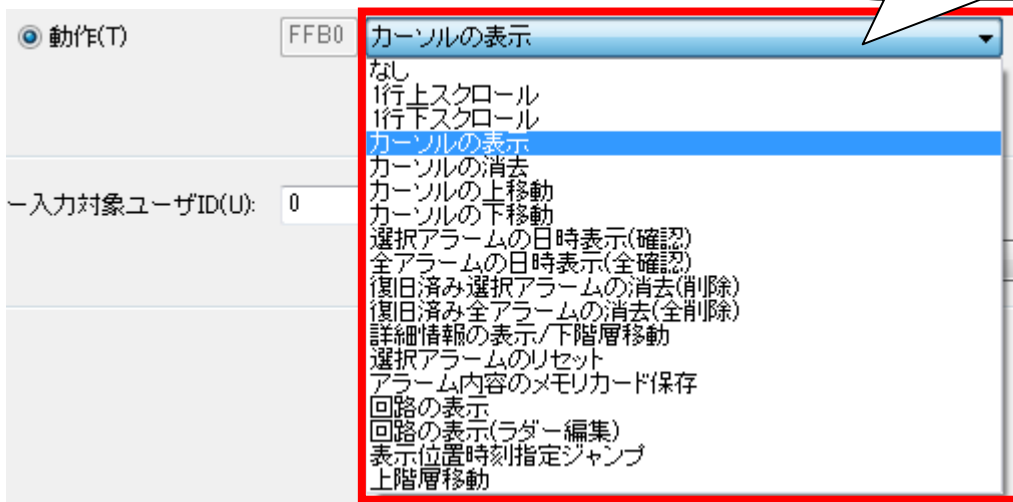
[実践的FAQ096 キーコードの変更方法]

キーコードはウィンドウで変更できないか？

ウィンドウで変更は可能です。

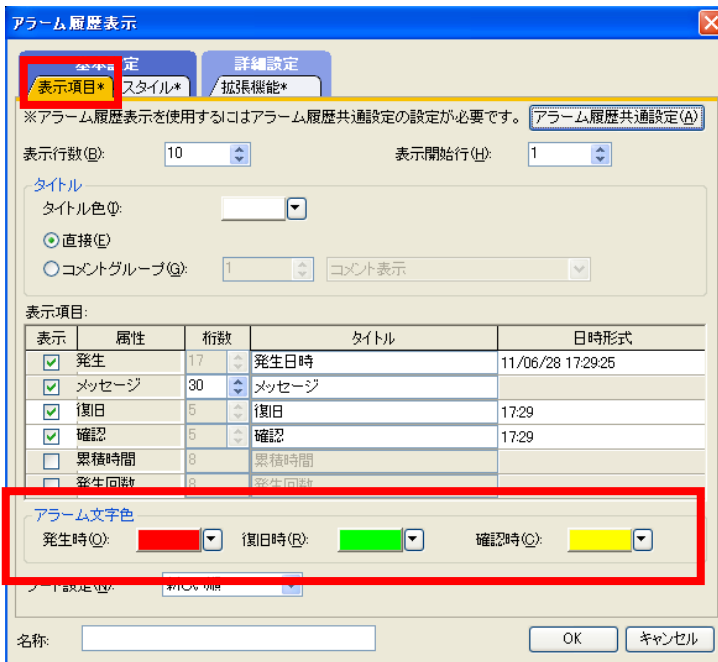


数値ではなく、文字で内容を確認することができます

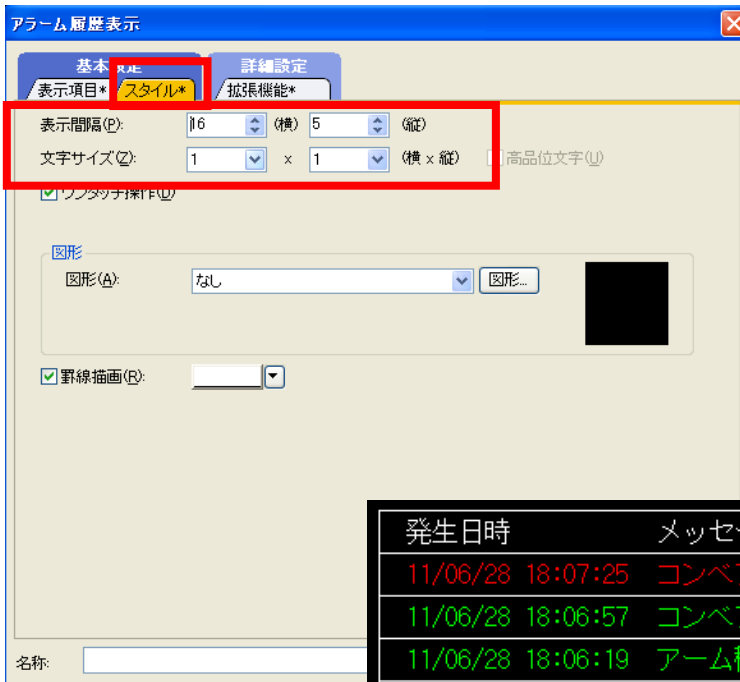


[実践的FAQ097 スタイル変更]

文字色の変更をするには？



表示の間隔を変更するには？



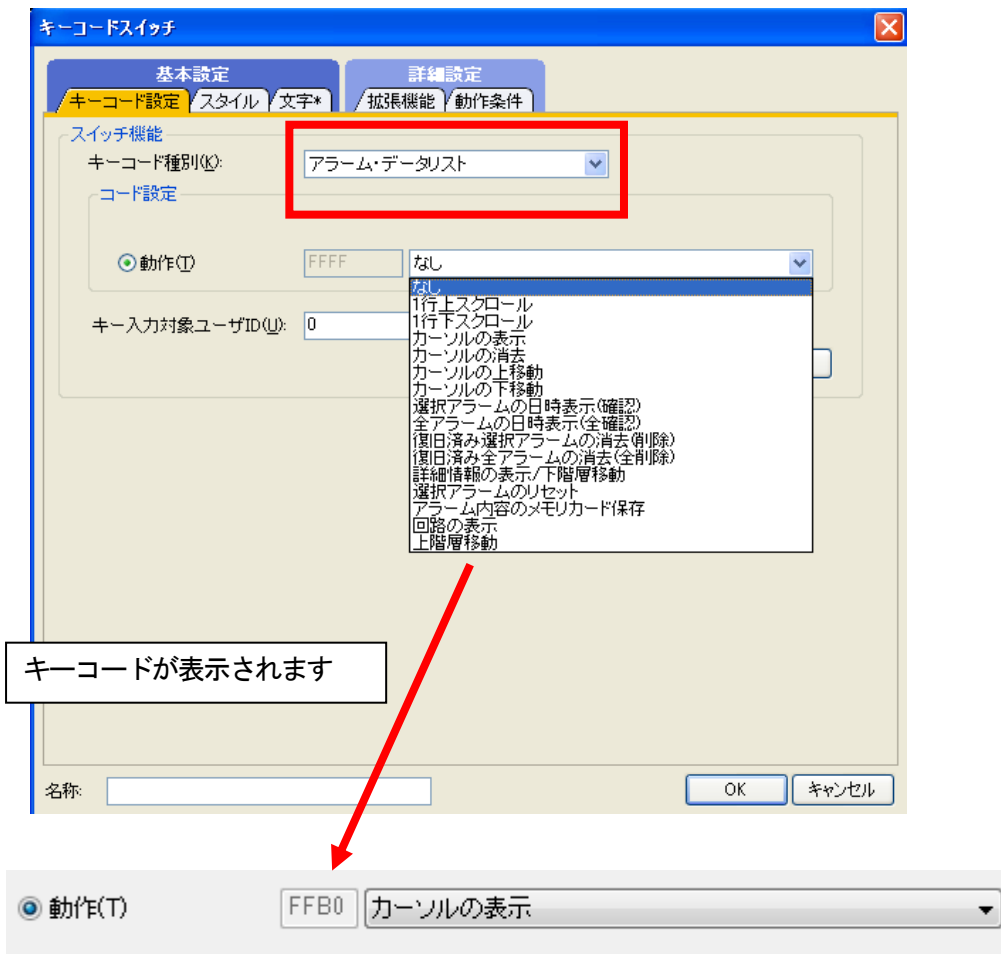
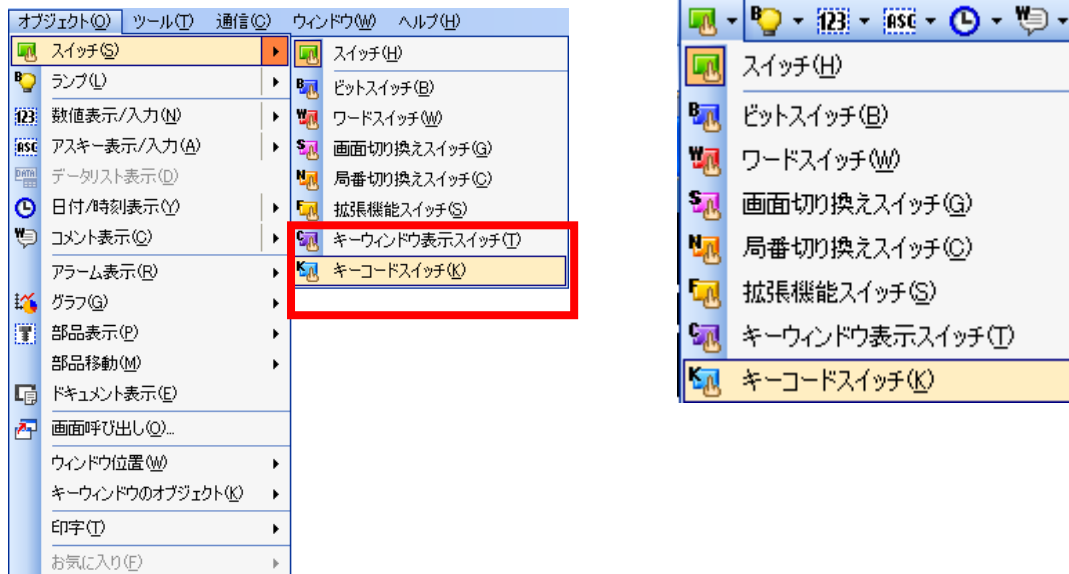
メッセージが切れることなく表示されているかを確認してください

発生日時	メッセージ	復旧	確認
11/06/28 18:07:25	コンベアを停止しました		
11/06/28 18:06:57	コンベアを停止しました	18:07	
11/06/28 18:06:19	アーム移動範囲内に人がいます	18:06	
11/06/28 18:06:05	コンベアを点検してください	18:06	
11/06/28 18:06:03	コンベアを停止しました	18:06	
11/06/28 18:06:01	アーム移動範囲内に人がいます	18:06	18:06

[実践的FAQ098 キーコード用のタッチスイッチ]

タッチスイッチでキーコードを作成することはできないか？

キーコード用のタッチスイッチ（キーコードスイッチ）で、アラーム履歴表示用のタッチスイッチが作成できます。キーコードスイッチでは、使用したい機能を選択すると、自動的にキーコードが設定されます。



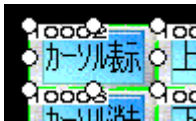
[実践的FAQ099 アラーム履歴表示用タッチスイッチの選択]

ライブラリよりアラーム履歴表示用タッチスイッチを画面に配置したが、必要のないスイッチを削除することはできないか？

タッチスイッチを右クリックして、「グループ化解除」を選択します。



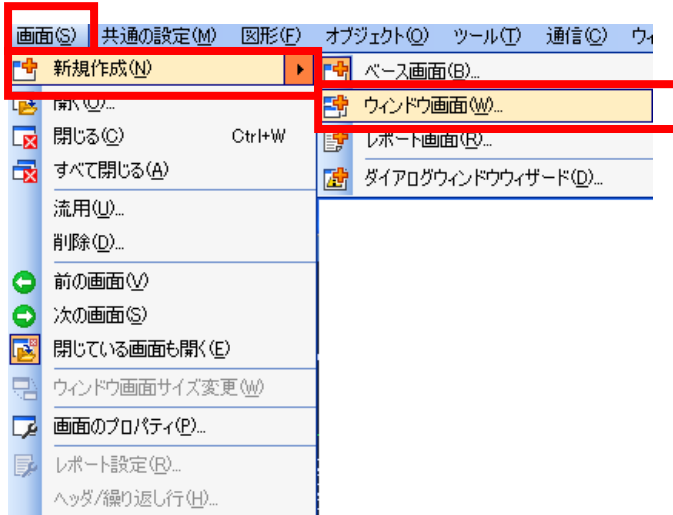
削除したい、タッチスイッチを選択し、キーボード上の“Delete”キーを押します。



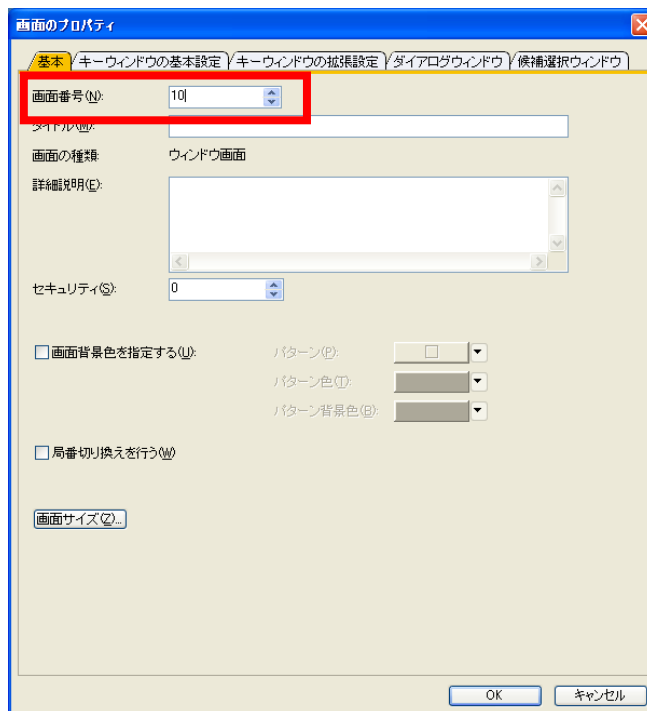
【詳細表示用ウィンドウ画面の設定】

詳細表示用のウィンドウ画面 No. 10～No. 13 を作成します。

①[画面]-[新規作成]-[ウィンドウ画面]メニューを選択します。

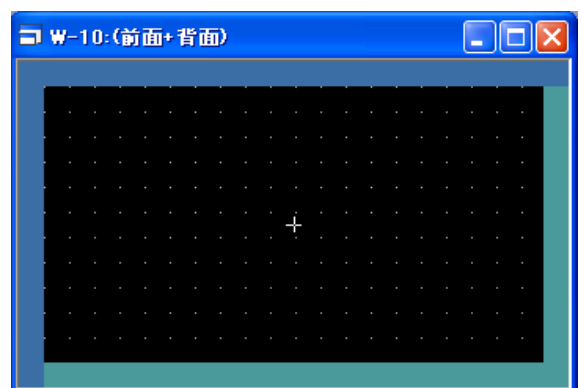


②画面のプロパティダイアログボックスが表示されます。「画面番号」を“10”に設定します。

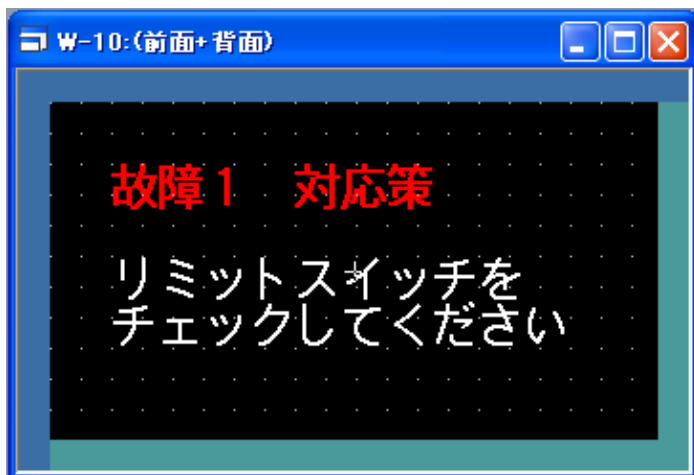


③”OK”ボタンをクリックします。

④ウィンドウ画面 No. 10 が画面上に開かれます。

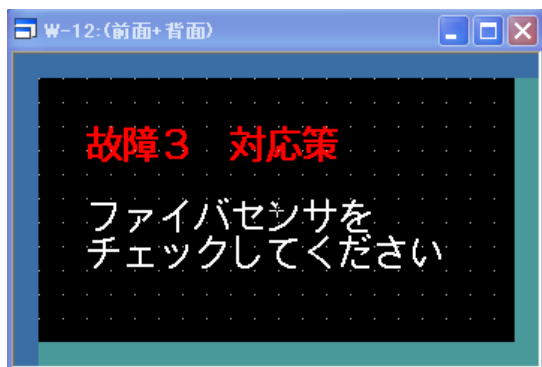
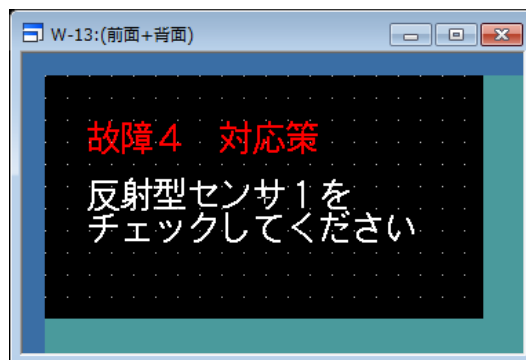
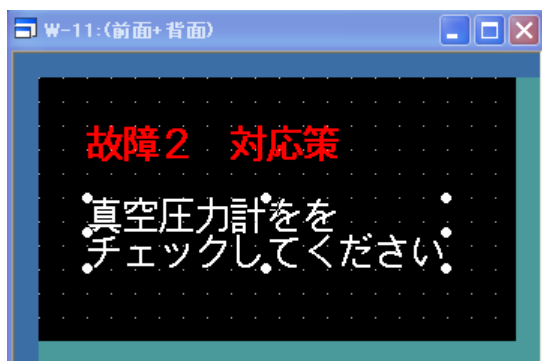


⑤ウィンドウ画面の画面上に右記のように文字図形を設定します。



⑥[画面]-[閉じる]メニューを選択します。

⑦前ページ①～⑥の手順を繰り返して、下記のようなウィンドウ画面 No. 11～13 を作成します。

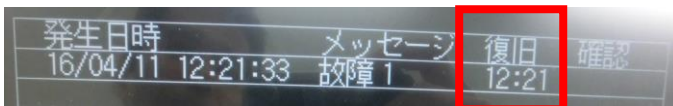


【動作確認】

①外部スイッチ X0 を ON する (PBS1 スイッチを押し続けてください)



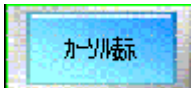
②X0 を ON から OFF にする



③同様に、X1, X2, X3 を ON→OFF させてください

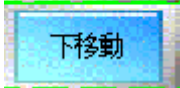
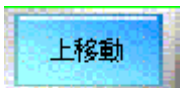
発生日時	メッセージ	復旧	確認
16/04/11 12:16:02	故障4	12:16	
16/04/11 12:16:00	故障3	12:16	
16/04/11 12:15:58	故障2	12:16	
16/04/11 12:15:56	故障1	12:15	

④タッチパネル上の、“カーソル表示”のボタンを押してください



発生日時	メッセージ	復旧	確認
16/04/11 12:16:02	故障4	12:16	
16/04/11 12:16:00	故障3	12:16	
16/04/11 12:15:58	故障2	12:16	
16/04/11 12:15:56	故障1	12:15	

⑤タッチパネル上の“上移動”、“下移動”にて、カーソル位置が変わることを確認してください



発生日時	メッセージ	復旧	確認
16/04/11 12:21:59	故障4	12:21	
16/04/11 12:21:55	故障3	12:21	
16/04/11 12:21:51	故障2	12:21	
16/04/11 12:21:33	故障1	12:21	

カーソルを移動することができます

⑥故障4にカーソルを合わせて、“確認”を押してください



発生日時	メッセージ	復旧	確認
16/04/11 12:21:59	故障4	12:22	12:22
16/04/11 12:21:55	故障3	12:21	
16/04/11 12:21:51	故障2	12:21	
16/04/11 12:21:33	故障1	12:21	

⑦タッチパネル上の“詳細”を押してください

(または、詳細を見たいタッチパネルの行に、タッチすると表示されます)

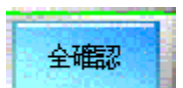


発生日時	メッセージ	復旧	確認
16/04/11 12:21:59	故障4	12:22	
16/04/11 12:21:55	故障3	12:21	
16/04/11 12:21:51	故障2	12:21	
16/04/11 12:21:33	故障1	12:21	

故障4 対応策
反射型センサ1を
チェックしてください

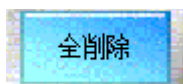
×を押すと、ウィンドウ
が消去されます

⑧タッチパネル上の“全確認”を押してください



発生日時	メッセージ	復旧	確認
16/04/11 12:21:59	故障4	12:22	12:22
16/04/11 12:21:55	故障3	12:21	12:23
16/04/11 12:21:51	故障2	12:21	12:23
16/04/11 12:21:33	故障1	12:21	12:23

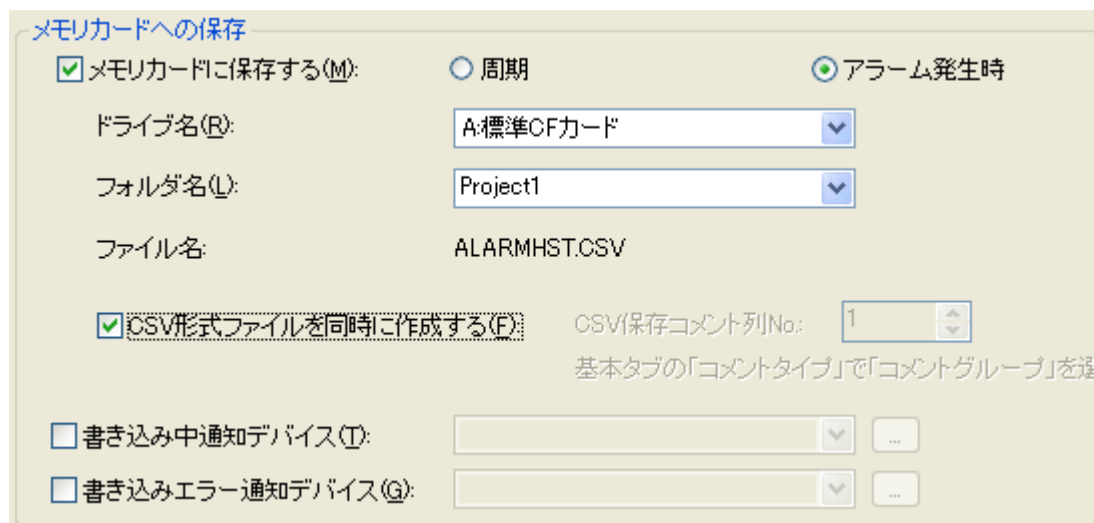
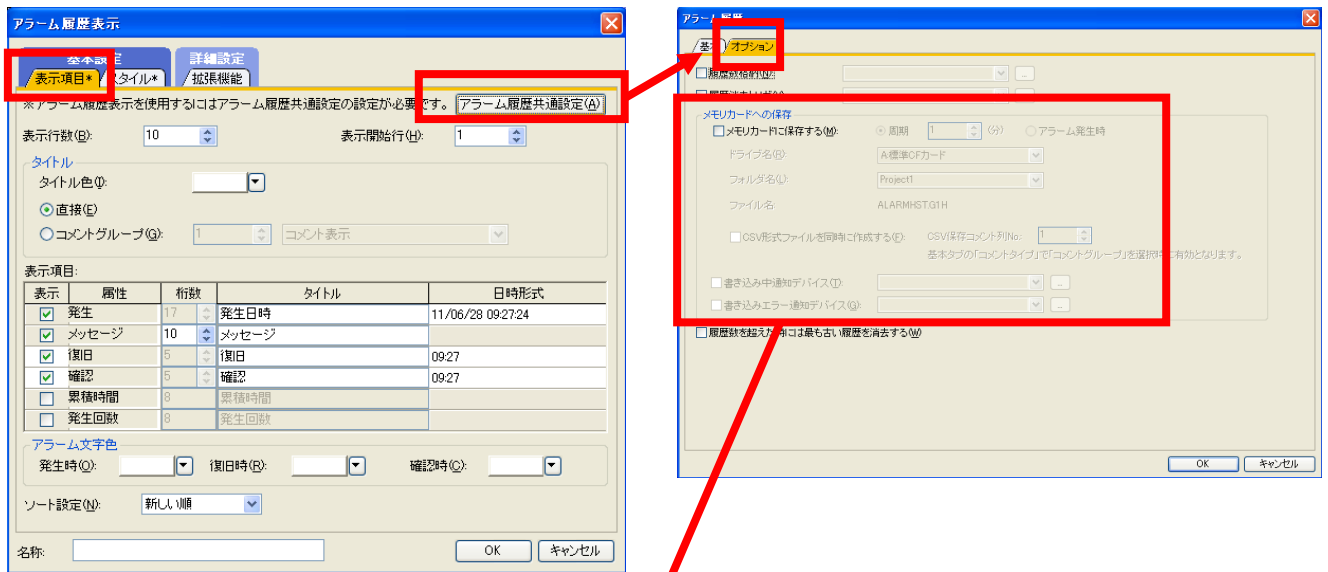
⑨タッチパネル上の“全削除”を押してください



発生日時	メッセージ	復旧	確認
------	-------	----	----

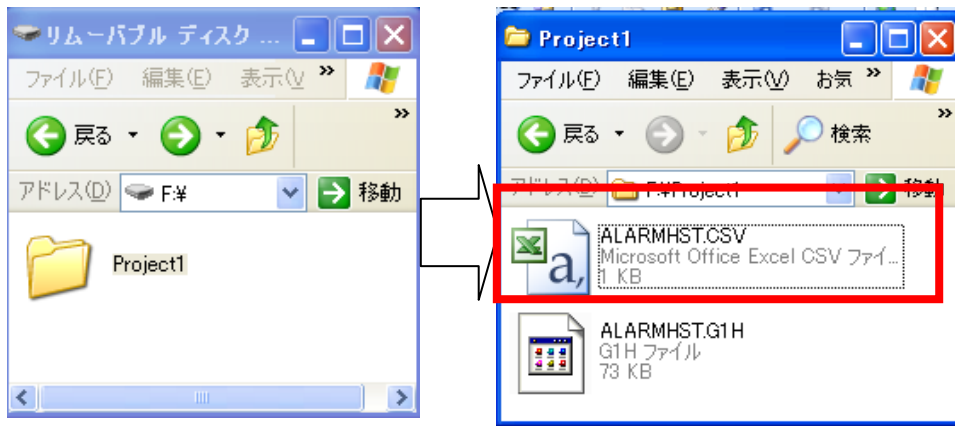
[実践的FAQ100 履歴をメモ리카ードの保存]

履歴をメモ리카ードに保存することはできないか？



CFカードの着脱は、GOTの電源がOFFの状態、またはCFカードアクセススイッチをOFFにした状態で行ってください。

CF カードを CF カードリーダーに挿入して、パソコンの USB ポートに接続してください。



Microsoft Excel - ALARMHST.CSV

	A	B	C	D	E
1	Number of Alarm History	5			
2	Number of Recovery record	5			
3	Number of Check record	2			
4	DATE	TIME	MESSAGE	RECOVERY	CHECK
5	2011/6/28	18:14:55	アーム 移動範囲内に人がいます	18:14:57	18:15:11
6	2011/6/28	18:14:57	コンベアを停止しました	18:14:59	
7	2011/6/28	18:14:59	コンベアを点検してください	18:15:01	
8	2011/6/28	18:15:03	コンベアを点検してください	18:15:05	18:15:16
9	2011/6/28	18:15:05	コンベアを停止しました	18:15:07	
10					



三菱製 CF カード



CF カードリーダー
(USB 接続タイプ)
(PC カード接続タイプ)

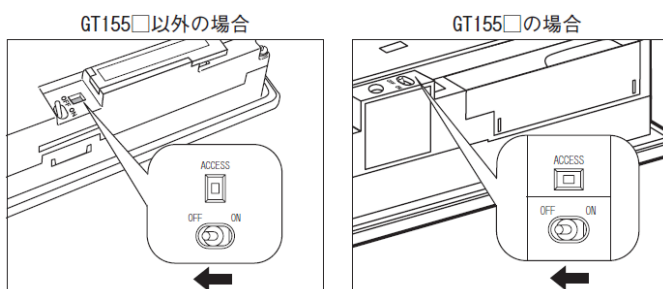
[実践的FAQ101 CFカードの着脱方法 (GOT 本体 CF カードインタフェース使用時)]

CF カードの着脱方法は？

CF カードの着脱は、GOT の電源が OFF の状態、または CF カードアクセススイッチを OFF にした状態で行ってください。

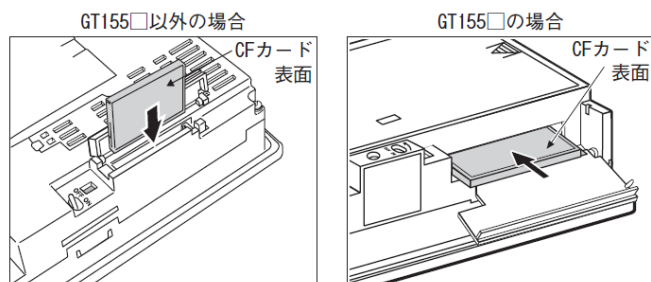
(1) 取付け

①GOT の CF カードアクセススイッチを OFF にします。

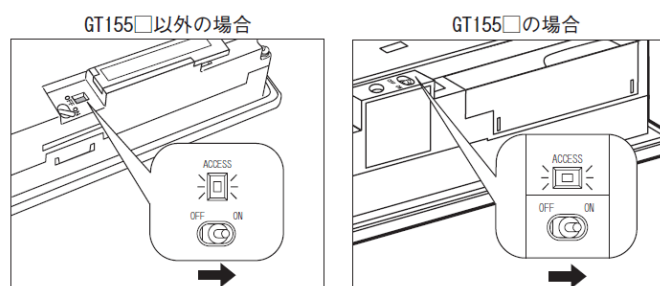


②CF カードインタフェースのカバーを開けます。

CF カードの表面を外側に向けて CF カードインタフェースに挿入し、装着します。

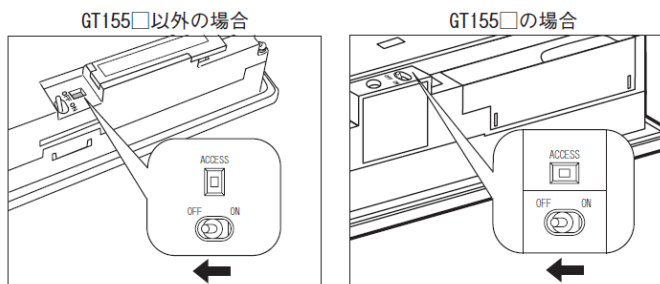


③CF カードインタフェースのカバーを閉じます。CF カードアクセススイッチを ON にします。

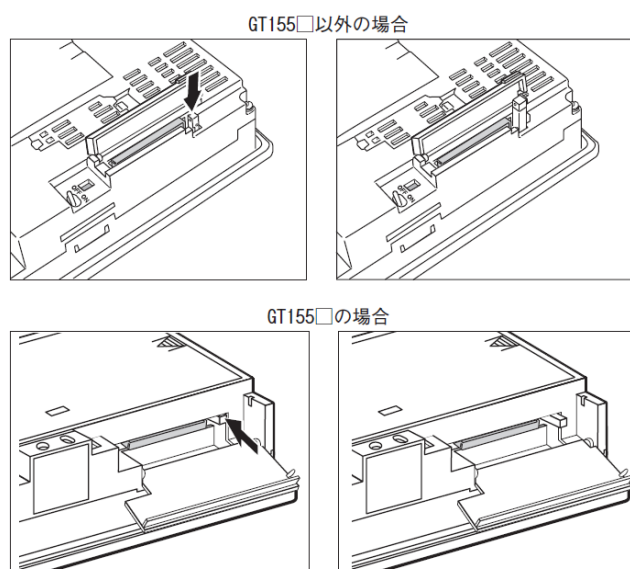


(2) 取外し

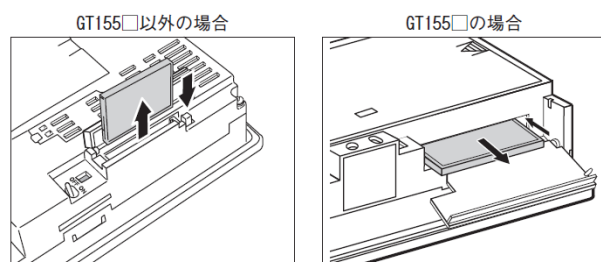
①GOT の CF カードアクセススイッチを OFF にし、CF カードアクセス LED が消灯したことを確認します。(CF カードアクセス LED が消灯すれば、GOT の電源 ON 中でも CF カードの取外しが可能です。)



②CF カードインタフェースのカバーを開けます。GOT の CF カードイジェクトボタンを押します。(CF カードイジェクトボタンを押すと、ボタンが飛び出します。)



③ GOT の CF カードイジェクトボタン押し込み、CF カードを浮き上がらせてから取り外します。



[実践的FAQ102 メモリカードの使用上の注意①]

CF カードへの書き込み回数の制限はありますか？

CF カードへの書き込み回数があります。各メーカーの CF カードの取扱説明書を参照してください。
三菱純正 CF カードは下記のようになります。

形名	容量	書き込み回数	質量	適用 GOT		
				GT 16	GT 15	GT 11
GT05-MEM-16MC	16MB	30 万回	0.01 kg	○	○	○
GT05-MEM-32MC	32MB			○	○	○
GT05-MEM-64MC	64MB			○	○	○
GT05-MEM-128MC	128MB			○	○	○
GT05-MEM-256MC	256MB			○	○	○
GT05-MEM-512MC	512MB			○	○	○
GT05-MEM-1GC	1GB			○	○	○
GT05-MEM-2GC	2GB			○	○	○
GT05-MEM-4GC	4GB			○*1	×	×
GT05-MEM-8GC	8GB			○*1	×	×
GT05-MEM-16GC	16GB			○*1	×	×
GT05-MEM-ADPC	—	—	0.02 kg	—	—	—

*1 容量が2GBを超えるCFカードは下記バージョンのOSがインストールされているGT16で使用できません。

- ・ BootOS のバージョン:05.09.00AF 以降
- ・ 基本機能 OS のバージョン:05.09.00 以降

上記バージョンのOSがインストールされていない場合、Version1.15R以降のGTDesigner3でOSをインストールしてください。

[実践的FAQ103 メモリカードの使用上の注意②]

三菱純正CFカード以外のCFカードはすべて認識することができますか？

すべてを認識するとは限りません。下記のHP テクニカルニュース GOT1000 シリーズにおける他社製CFカード動作確認情報 “を参照してください。

<http://wwwf2.mitsubishielectric.co.jp/melfansweb/documentsearch/technews/technicalNews.do?kisyu=/got>

FA機器 | MELFANSweb

TOP > 表示器 GOT > テクニカルニュース > 全て

制御機器

- シークンサ MELSEC
- サーボシステムコントローラ
- 表示器 GOT
 - コンセプト
 - ホットニュース
 - 新製品ニュース
 - ラインアップ
 - 製品検索
 - 機種指定
 - 社長・機能紹介
 - カタログ
 - ソリューション事例
 - テクニカルニュース**
 - メンテナンス
 - 動作確認機種
 - エンジニアリングツール

目 テクニカルニュース

全て

- GOT1000
- MELSOFT(GOT)シリーズ
- GOT-A900
- GOT-F900
- GOT800
- A77/A64GOT
- その他
- 全て

日本語版 英語版

ダウンロード
ファイル選択

全て選択 全て解除 選択したファイルを
一括ダウンロード

一括ダウンロード最大サイズ:100MB

No.	番号	分類	タイトル	ファイル サイズ	発行/改訂年月 (初版/再発行)	一括 ダウンロード
1	GOT-D-0043-C	GOT1000	GT15モデルからGT16モデルへの置き換え時の注意事項 英語版 GOT-A-0043(591KB)	892 KB	2011年06月	<input type="checkbox"/>
2	GOT-D-0037-B	GOT1000	GOT1000シリーズ MODBUS [®] 接続 動作確認機器一覧 英語版 GOT-A-0037(146KB)	340 KB	2011年06月	<input type="checkbox"/>
3	GOT-D-0001-U	GOT1000	GOT1000シリーズ動作確認機器一覧	603 KB	2011年05月	<input type="checkbox"/>
9	GOT-D-0025-C	GOT1000	GOT1000シリーズにおける他社製CFカード動作確認情報	297 KB	2011年03月	<input type="checkbox"/>



三菱グラフィック
オペレーションターミナル
テクニカルニュース

G O T
No. GOT-D-0025-C 1/5
2011年3月改訂C版
(2009年6月初版発行)

表 題	GOT1000シリーズにおける他社製CFカード動作確認情報
適用機種	GOT1000シリーズ

三菱グラフィックオペレーションターミナル(GOT)に格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
本テクニカルニュースは、弊社にて実施しました他社製CFカードをGOT1000シリーズ本体、オプションユニットに取り付けた場合の動作確認結果を情報提供いたします。なお、本テクニカルニュースはGOT1000シリーズにおける他社製CFカードの動作を保証するものではありません。
本情報を元にお客様判断にてCFカードを選定・使用していただくことを想定しておりますが、ご採用の可否判断は、下記の注意事項を確認のうえ、お客様の責任でお願いいたします。
弊社が保証している製品が必要な場合は、カタログ記載の当社純正CFカードをご使用ください。

【注意事項】

ご使用になるGOTの機種により使用できるCFカードのフォーマット・容量が異なります。下記を確認のうえ、他社製CFカードを選定してください。

①GT16の場合

FAT16でフォーマットしたCFカードは、**最大2GB**まで使用できます。
FAT32でフォーマットしたCFカードは、**最大32GB**まで使用できます。

ただし、容量が2GBを超えるCFカードは下記バージョンのOSがインストールされているGT16で使用できません。

[実践的FAQ104 メモリカードの使用上の注意③]

CF カード取付け、取外し時の注意しなければいけないことは？

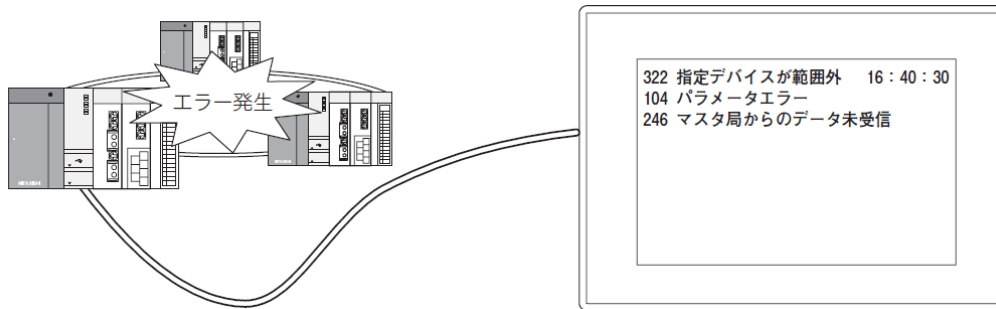
CF カード取付け、取外し時の注意事項は下記のとおりです。

- (1) CF カードアクセス LED 点灯中は、CF カードの着脱、GOT の電源 OFF を行わないでください。
データの破損や誤動作の原因になります。
- (2) CF カードを取り出す場合は、CF カードが飛び出す場合がありますので、手で支えて取り出し
てください。手で支えて取り出さないと、落下による CF カードの破損、故障の原因となりま
す。

4.10 システムアラーム表示

システムアラームとは GOT、PLCCPU、通信関係のエラー発生時、エラーコードとエラーメッセージを表示する機能です。

エラーの発生状態や原因を確認できます。



備考 表示するコメントについて

システムアラームで表示するコメントは、登録不要です。(GOT に登録されています。)

1 システムアラームの種類

システムアラームには、次の3種類のアラームがあります。

- ①GOT エラー：GOT のエラーをアラームとして表示
- ②CPU エラー：PLCCPU のエラーをアラームとして表示
- ③通信ユニットが検出したエラー：ネットワークのエラーをアラームとして表示
(MELSECNET、CC-Link 接続時のみ)

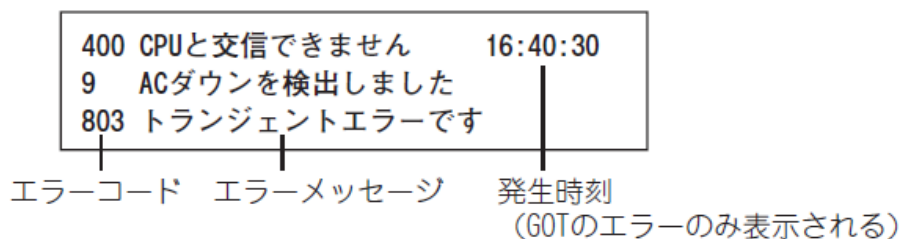
2 データの収集方法

アラーム状態は、システムアラームを配置していない画面が表示中でも、常に3秒周期でデータ収集され、GOT 内に保持します。

3 表示する内容について

システムアラームでは、エラーコードと、エラーメッセージ、発生時刻が表示されます。

表示されるエラーコードとエラーメッセージは、GOT にあらかじめ登録されていますので、ユーザで作成する必要はありません。



1) アラームの表示方法

(1) 最大表示数

システムアラームは、3種類のアラームを1種類ごとに1行で表示し、最大3行まで表示できます。
新たにアラームが検出されると、現在表示されているアラーム表示を、新しいアラーム表示に更新します。

例) 接続機器が新たにアラーム(パラメータエラー)を検出した場合

400 CPUと通信できません 16:40:30	→	400 CPUと通信できません 16:40:30
9 ACダウンを検出しました		104 パラメータエラーです
803 トランジェントエラーです		803 トランジェントエラーです

接続機器のエラー表示が、更新される。(9→104)

(2) 表示の優先度

表示範囲が2行以下の場合、次の優先度でアラームを表示します。

- ①GOT エラー
- ②CPU エラー
- ③ネットワークエラー

アラーム発生数が表示範囲を超えたとき、優先度の低いアラームは表示できません。

また、表示範囲の1行に収まらないエラーコード、エラーメッセージや時刻は表示されません。

注意

システムアラーム使用時の注意事項を下記に示します。

○作画に関する注意事項

1画面に配置(設定)できるシステムアラームの最大個数

システムアラームは1個配置(設定)できます。

○使用時の注意事項

(1) GOT にシステムアラームが表示されない接続機器

下記の接続機器で発生したエラーは、GOT のシステムアラームでは表示できません。

接続機器側でエラー内容を確認してください。

- ・SIEMENS 社製 PLC CPU
- ・アズビル社製制御機器
- ・理化学工業社製温度調節器
- ・インバータ

(2) GOT 上のシステムアラームの消去

(a) GOT エラーは、アラーム要因が解消されても、システムアラームから消去されません。

メッセージを消去するには、システム情報機能の下記デバイスを ON して行ってください。

- ・GOT エラーリセット信号

(b) CC-Link 通信ユニット, MELSECNET/10 通信ユニット, MELSECNET/H 通信ユニットで発生したネットワークエラーのメッセージは、アラーム要因が解消されても GOT を電源 OFF, リセットするまでメッセージは消去されません。

(3) 発生時刻の表示について

発生時刻は、GOT の時計データを表示します。

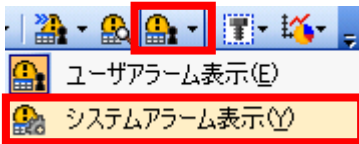
(4) 文字色と背景色について

システムアラームの文字色は白色固定であるため、プレート色は白色以外にしてください。

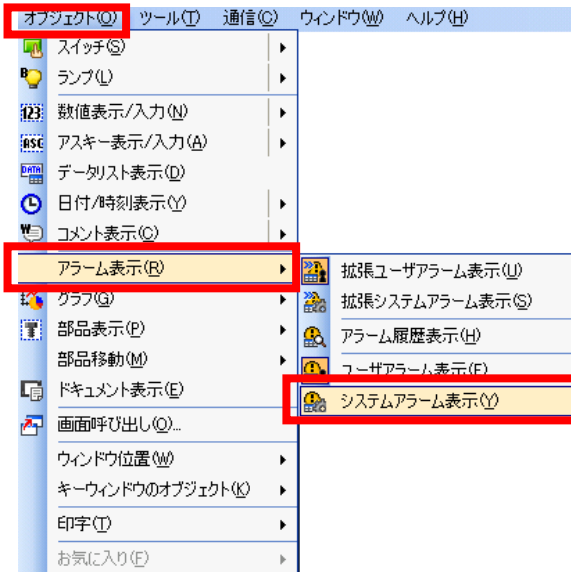
2) 配置と設定

①次のいずれかの操作を行います。

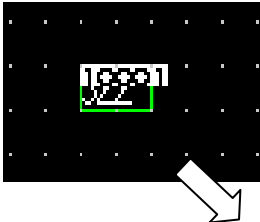
- ・ (システムアラーム) をクリック



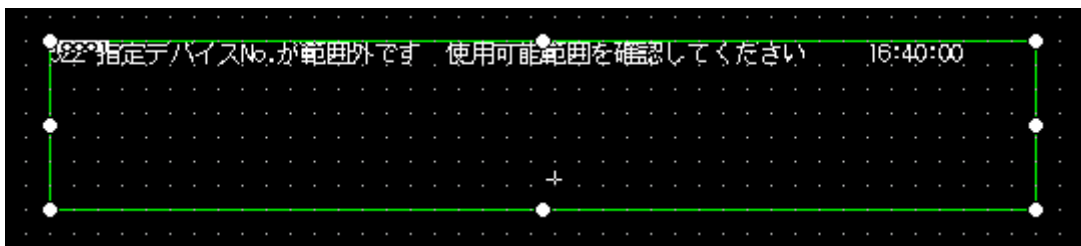
- ・ 【オブジェクト】 → 【アラームリスト表示】 → 【システムアラーム表示】 メニューを選択



②システムアラームを配置する位置でクリックすると、システムアラームの配置が完了します。



表示枠を広げると、文字が表示されます。



[実践的FAQ105 表示範囲の調整方法]

表示範囲は調整することができるか？

アラームメッセージが途中から欠けて表示されないように設定するには、表示範囲を下記のように調整してください。GOT の画面サイズが以下に示す値より小さい場合は、文字サイズを小さくして調整してください。

400 CPUと通信できません	16:40:30
9 ACダウンを検出しました	
803 トランジェントエラーです	

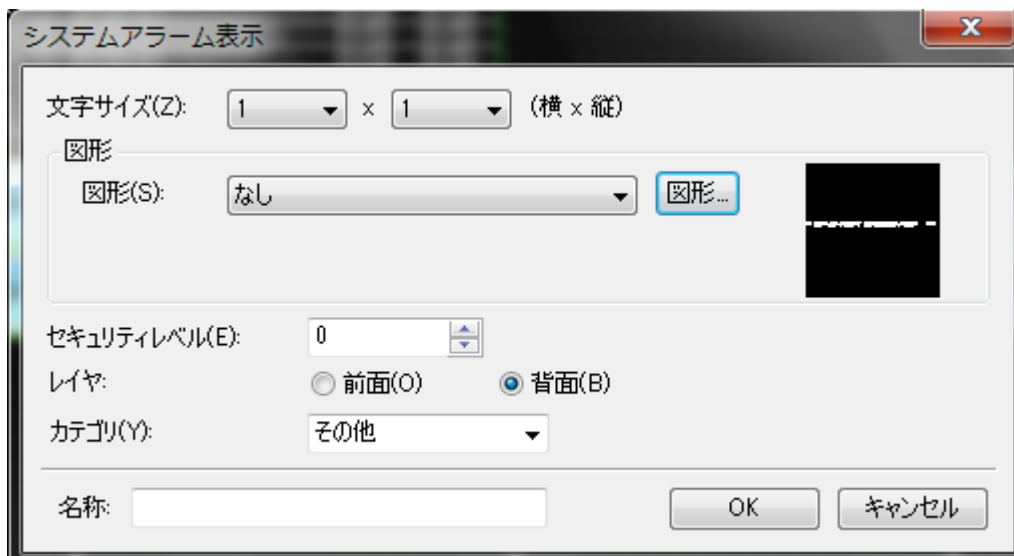
エラーメッセージ（最大64桁） 発生時刻（8桁固定）

3行分で設定してください。
（文字サイズが、1×1倍の場合、3行で縦サイズを48ドット使用します。）

文字サイズが1×1倍の場合、576ドットで表示されます。
右端の発生時刻が表示されるまでサイズを拡大してください。

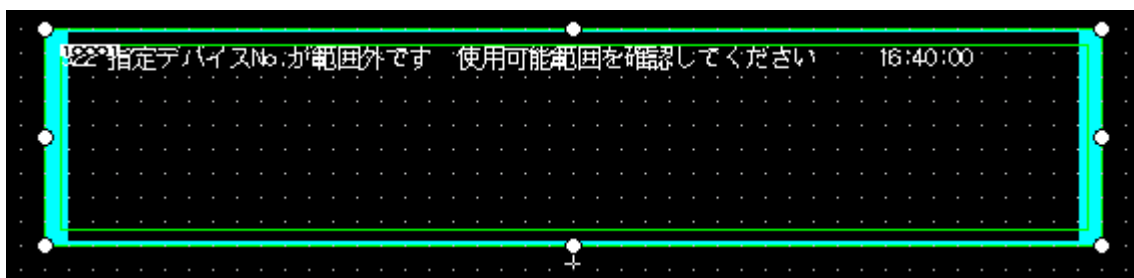
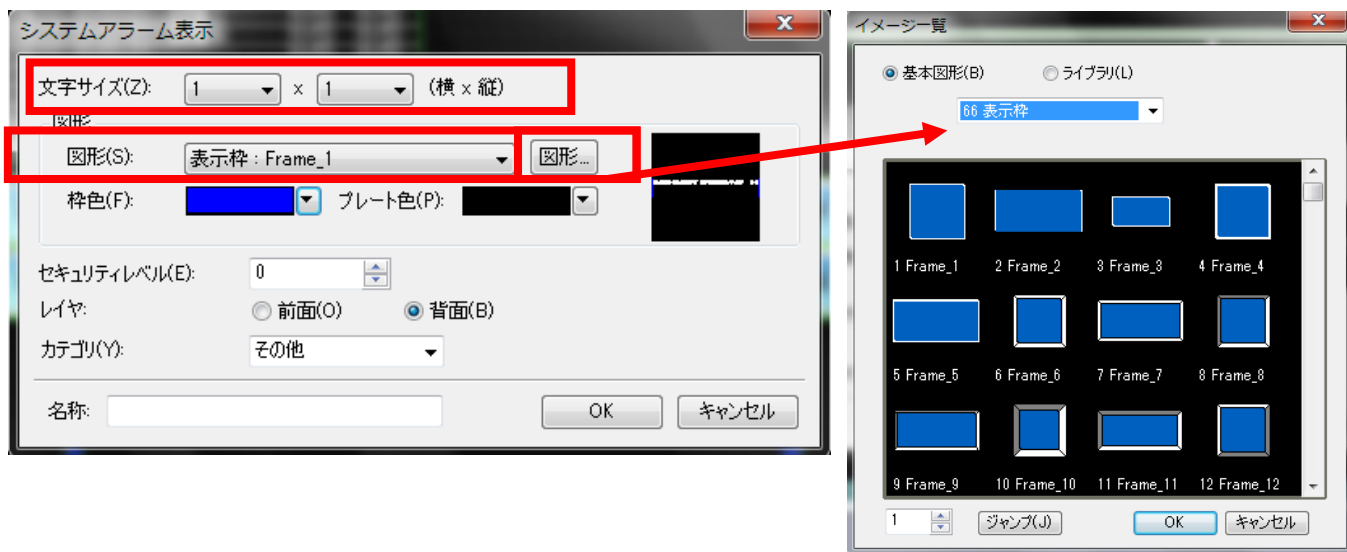
③配置したシステムアラームをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが表示されるので各種設定を行います。

システムアラームの表示フォーマット（図形枠／文字サイズ）を設定します。



文字サイズを“1×1”に設定してください。

図形を表示枠図形：表示枠：Frame_1に設定してください。



[補足]システムアラーム一覧

○ユーティリティでエラーメッセージを確認する(ユーティリティ)

オブジェクトを設定していない場合でも、ユーティリティのシステムアラーム表示でエラーコード、エラーメッセージを確認することができます。

エラーの発生元	エラーコード	内容	エラー発生チャンネル No. 格納先*1	参照先
接続機器	0 ~ 99 (D9008 の値)	CPUのエラーコード(ACPU)	GS263	GOT を接続している ACPU のユーザーズマニュアル
	100 ~ 299	下記接続機器のエラーコード FXCPU*2 他社製シーケンサ 温度調節器(オムロン社製温度調節器のみ)		GOT を接続している接続機器のマニュアル エラーメッセージの内容を見て対処してください。
GOT*5	300 ~ 399	GOT 本体機能のエラーコード	GS262*4	10.3.2 エラーメッセージ・システムアラーム一覧
	400 ~ 499	GOT 通信機能のエラーコード		
	500 ~ 699	GOT 本体機能のエラーコード		
ネットワーク	800 ~ 999	ネットワークのエラーコード	GS264	
CPU	1000 ~ 10000 (SD0 の値)	CPU のエラーコード (QCPU, LCPU, QnACPU)	GS263	GOT を接続している QCPU, LCPU, QnACPU のユーザーズマニュアル
モーションコントローラ	10001 ~ 10999	モーションコントローラのエラーコード (Q173DCPU/Q172DCPU)		GOT を接続しているモーションコントローラのユーザーズマニュアル
CNC C70	11000 ~ 11999	CNC のエラーコード (Q173NCCPU)		GOT を接続している CNC C70 のユーザーズマニュアル
ロボットコントローラ	12000 ~ 12999	ロボットコントローラのエラーコード (Q172DRCPU)		GOT を接続しているロボットコントローラのユーザーズマニュアル
サーボアンプ*3	20016 ~ 20237	サーボアンプのエラーコード		GOT を接続しているサーボアンプのマニュアル

*1 GOT 特殊レジスタ (GS262 ~ 264) についての詳細は、下記のマニュアルを参照してください。

・GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編) 付.2.1 GOT 内部デバイス

・GT Designer2 Version 画面設計マニュアル 2.9.1 GOT の内部デバイス

*2 FXCPU の場合、エラーコード 100 ~ 109 があり、M8060 ~ M8069 の状態をエラーコードで表示します。

(例) エラーコード(100)のエラーが発生したときは、M8060 の説明によりエラー処置を行ってください。

*3 GOT で表示するエラーコードは、サーボアンプで表示されるエラーコード(16 進)を 10 進表記にして+ 20000 したものです。



そのため、GOT のシステムアラームで表示されるエラーコードをもとに、サーボアンプのマニュアルを参照する場合は、GOT のエラーコードを-20000 して下 3 桁を 16 進に読みかえてください。

(例: GOT のシステムアラームが 20144 の場合、サーボアンプのエラーコードは 90H となります。)

*4 エラーコードによっては、チャンネル No. が格納されません。

*5 ファイルアクセスに関するシステムアラームでは、アラームが発生しているドライブを確認できませんが、システム信号 2-2 のファイルアクセスエラー信号(b7 ~ 10)を確認することで、アラームが発生しているドライブを特定することができます。

OGOT で検出したシステムアラームを下記に示します

エラーコード	エラーメッセージ	対処
303	モニタ点数が多すぎます 設定数を減らして下さい	表示している画面からオブジェクトの点数を減らしてください。1画面の最大オブジェクト点数は、下記を参照してください。  ・ GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編)  ・ GT Designer2 Version 画面設計マニュアル
304	トリガ点数が多すぎます 設定数を減らして下さい	周期 / ON 中周期 / OFF 中周期を使用するオブジェクトの点数が 100 点を超過しています。 オブジェクトの点数を減らしてください。
306	モニタデータがありません 画面データをダウンロードして下さい	プロジェクトデータがダウンロードされていない、または画面データが不足しています。 プロジェクトデータまたは画面データをダウンロードしてください。
307	モニタデバイスが設定されていません	オブジェクトのモニタデバイスが決定されていません。 オブジェクトのモニタデバイスを決定してください。
308	コメントデータがありません コメントをダウンロードして下さい	コメントファイルが存在しません。 コメントファイルを作成し、GOT にダウンロードしてください。
309	デバイス読み出しエラーです デバイスを修正して下さい	連続デバイスを読み出したとき、エラーが発生しました。 デバイスを修正してください。
310	指定プロジェクトデータが存在しないまたは指定番号が範囲外です	<ul style="list-style-type: none"> 指定したベース画面 / ウィンドウ画面が、プロジェクトデータに存在しません。 指定したベース画面 / ウィンドウ画面が許容範囲外です。存在するベース画面 / ウィンドウ画面を指定してください。
311	アラーム履歴件数が上限を超えました 復旧した履歴を削除して下さい	アラーム履歴表示機能で履歴件数が監視できる最大点数を超えました。 復旧した履歴を削除して件数を減らしてください。
312	散布グラフの収集回数が上限を超えました 収集データを消去して下さい	散布グラフで“メモリ保存”、“累積回数 / 平均値書込み”の設定をしている場合に、収集回数が上限を超えました。 <ul style="list-style-type: none"> 散布グラフで設定した“消去トリガ”を成立させてください。 散布グラフの“回数オーバー時動作”を“初期化して継続”に設定してください。
315	デバイス書き込みエラーが発生しました デバイスを修正して下さい	デバイスへ書き込みをしたとき、エラーが発生しました。 デバイスを修正してください。
316	演算結果の値が表示 / 入力できません 演算式を見直して下さい	コメント / 部品番号の間接指定において、データ演算結果がデバイス型で表現できる範囲を超えました。 データ演算式を見直し、デバイス型で表現できる範囲を超えないようにしてください。
317	データ収集の発生頻度が高すぎます 収集条件を見直して下さい	表示トリガ連動データ収集を設定したオブジェクトのデータ収集頻度が高すぎるか、同時に収集可能なオブジェクトの数を超過しています。 <ul style="list-style-type: none"> 各オブジェクトのトリガが発生する周期を長く設定してください。 表示トリガ連動データ収集を設定したオブジェクトの表示トリガが、同時に 257 個以上発生しないように設定してください。
320	指定部品が存在しないまたは指定番号が範囲外です	部品ファイルが存在しません。 部品ファイルを作成し、GOT にダウンロードしてください。
322	指定デバイス No. が範囲外です 使用可能範囲を確認して下さい	モニタするデバイス No. が対象シーケンサ CPU の許容範囲外です。 モニタするシーケンサ CPU およびパラメータ設定により、モニタ可能範囲のデバイスを設定してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対処
480	通信チャンネルが未設定です ユーティリティより通信チャンネルを設定して下さい	接続機器と通信するためのチャンネル(CH No.1～4)が設定されていません。 <ul style="list-style-type: none"> GT Designer3, GT Designer2 で接続機器設定後、接続機器設定をGOTにダウンロードしてください。 ユーティリティの接続機器設定で、チャンネルの割付けを変更してください。
481	通信チャンネルを設定済みの スロットに通信ユニットが未 装着です	チャンネル(CH No.1～4)が設定されているインタフェースに通信ユニットが装着されていません。 <ul style="list-style-type: none"> チャンネル(CH No.1～4)が設定されているインタフェースに通信ユニットを装着してください。 接続機器設定でチャンネル(CH No.1～4)の割当てを変更してください。
482	同一ユニットの装着可能数を 超えています 装着可能数を確認して下さい	GOTに装着されているユニットが、装着可能数を超えています。ユニットの数を確認して、不要なユニットを取り外してください。
483	排他的にしか装着できない異 種ユニットが同時に装着され ています	GOTに同時に装着できないユニットが、2つ以上装着されています。装着されているユニットを確認して、不要なユニットを取り外してください。
484	装着位置が正しくないユニッ トがあります 装着位置を確認して下さい	GOTに装着されているユニットの装着位置が間違っています。ユニットの装着位置を確認してください。
485	ユニットの装着可能数を超え ています 装着可能数を確認して下さい	GOTに装着されているユニットが、装着可能数を超えています。ユニットの数を確認して、不要なユニットを取り外してください。
486	通信ユニットと通信ドライバ 情報が不一致です 設定内容を確認して下さい	接続機器設定で設定されている通信ドライバと、GOTに装着されている通信ユニットの組み合わせが間違っています。 <ul style="list-style-type: none"> 接続機器設定で設定されている通信ドライバが正しいか確認してください。 GOTに装着されている通信ユニットが間違っていないか確認してください。
487	シーケンサと GOT の電源を 再投入してください	シーケンサと GOT の電源を再投入してください。
488	ユニットの装着可能数を超え ています 装着可能数を確認して下さい	GOTに装着されているユニットが、装着可能数を超えています。ユニットの数を確認して、不要なユニットを取り外してください。
489	チャンネル指定に動作してい ない CH が指定されています	プロジェクトデータに、動作していないチャンネル No. が設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトデータに、不要なチャンネル No. の設定がないか確認してください。 プロジェクトデータで設定しているチャンネル No. が、接続機器設定で設定されているか確認してください。
490	排他的にしか装着できない異 種ユニットが同時に装着され ています	GOTに同時に装着できないユニットが、2つ以上装着されています。装着されているユニットを確認して、不要なユニットを取り外してください。
491	ユニットの装着可能数を超え ています 装着可能数を確認して下さい	GOTに装着されているユニットが、装着可能数を超えています。ユニットの数を確認して、不要なユニットを取り外してください。
492	使用できない通信ユニットが 装着されています	GOTに使用できないユニットが装着されています。 使用できないユニットを取外してください。
500	GOT 内蔵バッテリーの電圧が低 下しています	GOT 内蔵バッテリーの電圧が低下しています。 GOT 内蔵バッテリーを交換してください。

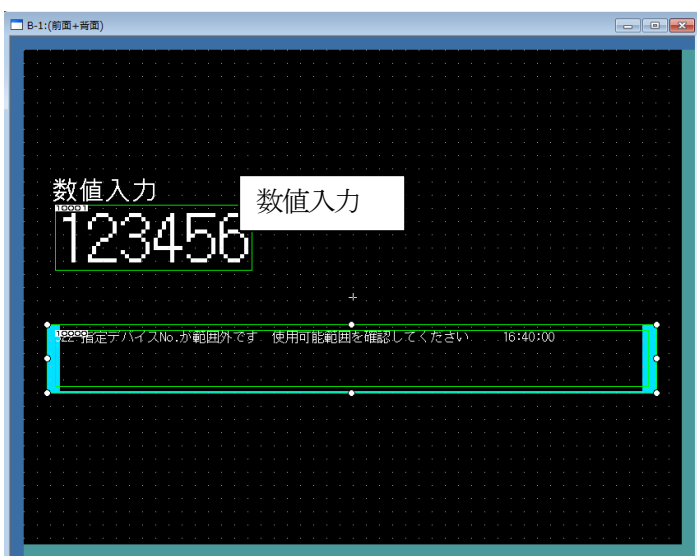
参考マニュアル

GT16 本体取扱説明書（ハードウェア詳細編）

形名 GT16-U(HW-SHO)

形名コード 1D7MD1

例1：数値入力 デバイス指定をしなかった場合



307 モニタデバイスが設定されていません

例2：PLCユニットが取外れた場合



307 モニタデバイスが設定されていません
2000電源投入時のユニット構成と現在の構成が異なります

例3：タッチパネルバッテリーが取外された場合



500 GOT内蔵バッテリーの電圧が低下しています
2000電源投入時のユニット構成と現在の構成が異

※同じ種類のエラーは2つ表示されません
(例1と例3はGOTエラーのため、同時に表示されません)

課題 14 アラームリスト表示

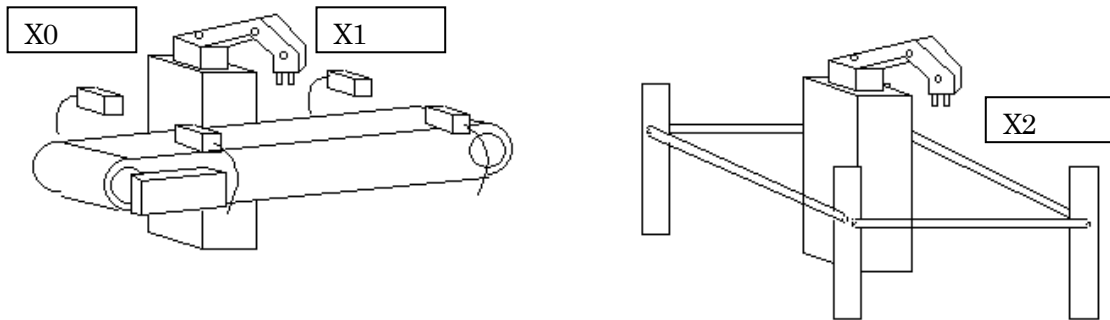
システムアラームと下記のアラームリストが表示されるような画面を作成してください。

X0 : アーム移動範囲内に人がいます

X1 : コンベアAが停止しました

X2 : コンベアを点検してください

例)



例)

